

# 日医総研ワーキングペーパー

製薬会社の経営実態の分析  
(平成11年度決算短信から)

No. 28

平成12年6月20日

日 医 総 研

前田 由美子 (内線 2228)

## 製薬会社の経営実態の分析

(平成 11 年度決算短信から)

前田 由美子

### キーワード

- ◆ 薬価と製薬メーカーの利益
- ◆ 外国企業との比較
- ◆ 「製薬会社の通知表」

### ポイント

- ◆ 上位 15 社で売上高 4 兆円、経常利益 0.8 兆円
  - ◆ 薬価引下げのツケは卸へ
  - ◆ 研究開発で外国企業に遅れ、次世代の危機
- 旧態依然で「そこそこ」の企業が危ない

## 1. はじめに

相次ぐ薬価引き下げにもかかわらず、製薬メーカーは高利益を維持しており、製薬会社が独り勝ちを収めているともいわれている。

その実態を検証するため、平成 11 年度の決算短信をもとに、製薬メーカー 15 社の財務状況を中心とする分析を行った。この分析は過去 2 年にわたって実施しているが、今回は新たに (1) 卸との関係、(2) 外国企業との比較、(3) 製薬メーカー間での力関係の比較、についても分析し、製薬会社の位置付けの明確化を試みた。

## 2. 業界概要

### (1) 分析対象企業の現状

#### 平成 10 年度 (図 1,2)

今回分析の対象としたのは、平成 10 年度の医薬品売上高が 15 位までの上場企業である。平成 10 年度の売上高実績では、単独ベースで武田薬品が 4,726 億円、三共が 4,216 億円と 4,000 億円台を超えている。続く 3 位の山之内製薬は 2,603 億円であり、3 位以下は上位 2 社に大きく水をあけられている。

また平成 10 年度は、厚生省健康政策局の調査によると、国内の医薬品市場は 7.1 兆円であった。このうち、今回分析対象とした上位 15 社で約 45%、つづく 63 社で 35% のシェアを占めている。一方で、残りの 20% の中に、1,500 社以上もの企業がひしめく業界となっている。

#### 平成 11 年度

平成 11 年度分については、上場上位 15 社を中心に主として連結決算ベースでの分析を行った。

### イ. シェア・地位 (図 3)

連結ベースで今年度の医薬品売上高を見ると、武田薬品が 6,798 億円、三共が 4,562 億円である。武田薬品と三共の差が大きく、三共以下の差はそれほど開いていない。グループ経営の視点から見ると、武田薬品が 1 位のシェア固めをしていることが明らかである。

### ロ. 上場上位 15 社の総額 (図 4,5)

次に上場上位 15 社の総額を見てみよう。単独ベースでの売上高総額は 3.9 兆円、連結ベースでは萬有製薬が連結決算を公表していないため 14 社分となるが、売上高総額で 4.8 兆円である。平成 11 年度の GDP (実質) が 482 兆円であったので、国内総生産のちょうど 1% が製薬会社のシェアということになる。

経常利益については、単独ベースで総額 8,132 億円、連結ベースで 8,734 億円と 9,000

億円に届く規模である。この3年間で25%増と急速に経常利益を拡大してきているので、このままいけば、総額で1兆円に届く日も遠くはなからう。

経常利益が9,000億円ということは、国民医療費が約30兆円であることから、全ての医療機関が9,000億円の利益、つまり3%の経常利益率を確保することと同等である。更に、これを9万診療所で置き換えると、全ての診療所が年間1,000万円の経常利益を挙げる規模に匹敵する。

また、「R」と製薬メーカーの経常利益は反比例の関係にある。時系列で見ると、R幅が下がるほど、製薬メーカーの経常利益が増加する傾向にあるのである。

## (2) 卸との関係

### 売上高経常利益率の比較(図6)

医薬品業界では、製薬メーカーの経常利益率が18.4%あるのに対し、大手卸の経常利益率は1.3%に止まっている。中堅卸にいたっては、経常利益率が1%を切っている実態である。大まかにいって、製薬メーカーと卸の利益配分は9:1となっている。

一方、全産業では、製造業平均3.3%に対し、卸・小売業平均は1.3%となっており、概算で7:3の利益配分である。また卸売業者を活用するケースの多い食料品業界を見ても、利益配分はメーカー対卸で6:4となっており、医薬品業界の構造とは大きな違いがある。

医薬品業界では、製薬メーカーへの利益がかなり厚く、メーカーが卸に比べて圧倒的に優位に立つ業界構造になっているといえよう。

### 薬価との関係

製薬メーカーと医療品卸との力関係の差は、薬価引下げの影響の受け方にも現れている。

平成8年度以降、平成9年4月に4.4%、平成10年4月に9.7%と2年連続で薬価引き下げが行われた。しかし、この2回の薬価引下げに連動して、製薬メーカーの売上高が低下した年は1度もない。(図7)

医薬品卸はどうだろうか。医薬品卸売業界では、大手が中小を吸収合併する動きが活発であり、そのせいもあって大手卸は着実に売上高規模を拡大している。しかし、それ以上に売上原価、つまり製薬会社から仕入れる商品コストが増加しているのである(図8)。製薬メーカーは薬価引下げの影響を受けていないが、その分、卸売業者に皺寄せが寄っているのではないだろうか。

卸への薬価引下げの影響の大きさを裏付ける指標として、売上高原価比率の上昇も指摘できる(図9)。4年前には大手卸の平均は86.6%であったが、平成11年度には88.8%に達し、この3年間で2ポイントも上昇した。中には、売上原価率が90%を上回っている卸もあり、粗利ですら10%を確保できていない。製薬メーカーとの関係に

において、卸の生き残りはかなり厳しいそうである。

また、卸の売上原価率は「R」が下がるほど、上がる傾向にある。製薬メーカーが「R」に反比例して経常利益を増加させているのと対症的である。

#### 業界の構図

今回分析した企業を対象に、業界の構図を図示してみた（図 10）。

製薬メーカー大手（連結 14 社）は、総額で 4.8 兆円の売上高を挙げ、そのうち経常利益は 0.8 兆円に上る。実数は不明だが、これに他の製薬メーカーの分も合わせた商品が卸に流れ、大手卸（5 社）がそのうちの 2.4 兆円を扱っている。ここでの経常利益は 0.03 兆円であり、図示するとほとんど見えない規模になる。業界の中での、メーカーへの利益の偏りがいっそう明らかである。

### 3 企業別指標の時系列分析

医薬品部門のみのデータをとれない項目が多いため、企業別指標については、以下すべて全社数値により分析したものである。また、過去に連結決算を公表していない大正製薬、萬有製薬、小野薬品を除いた 12 社を対象としている。

#### （1）成長性（図 11,12）

##### 売上高

過去 3 年間、製薬メーカーの売上高は武田薬品を除いてほぼ横這いから微増であり、市場は大きく拡大していないように見える。しかし、平成 8 年度を 100 として平成 11 年度を見ると、全産業平均および医薬品と比較的近いトイレタリー産業の売上高が 90、GDP（実質）が 98 と、いずれも低下している。これを考慮すると、製薬メーカーの売上高は日本の他の産業を大きく上回る成長性を示しているといえよう。

##### 経常利益（図 13~15）

過去 3 年間連続して経常利益を伸ばしているのは、武田薬品のみである。一方で、エーザイは 3 年連続で経常利益を落としている。

経常利益を伸ばし続けた結果、武田薬品の連結経常利益は 2,227 億円となっており、2 位の三共（1,434 億円）以下を大きく上回っている。

また、武田薬品は単独ベースの経常利益に比べ、連結ベースでの経常利益が 400 億円以上も多い。もともとの規模が大きいこともあるが、グループ経営を進め、かつ成功しているといえそうである。なお、武田薬品の経常利益が増加したのは、特に売上原価率が低下しているためである。

## (2) 収益性

### 売上高経常利益率 (図 16)

大手製薬メーカーの売上高経常利益率は10%から20%程度であり、平成9年度以降、年々上昇する傾向にある。このうち3年連続で経常利益率が増加したのは、武田薬品、山之内製薬、田辺製薬であり、武田薬品は24.1%に達している。

一方、旧ミドリ十字と合併したウェルファイド(旧吉富製薬)は3年連続で経常利益率を低下させているが、それでも8.1%である。

### 損益分岐点比率 (図 17)

損益分岐点比率を算定するためには、変動費と固定費を明確に仕訳けする必要がある。しかし、データが不十分であるので、ここでは売上原価を変動費、販売費・一般管理費を固定費とみなして試算した。

国内の他産業も含めた損益分岐点比率は90%近い。これに比べ、大手製薬メーカーの損益分岐点比率は80%以下である。売上が20%減少しても耐えられる余裕があるといえる。ただし、製薬メーカーを個別に見ると、60%前後かそれ以下で極めて安全なグループと、80%程度のまずまずのグループとに二分され、やや差がついている。

### 総資本税引き前利益率 (図 18)

自己資本と負債として借り入れている他人資本をもとに、事業活動を通じていくらの利益が得られたか、という視点から見たのが総資本税引き前利益率である。税引き前利益には、事業で得た全ての利益、すなわち営業利益に加え、受取利息と配当金を含んでいる。

総資本税引き前利益率が10%以上で、かつ過去2期連続して向上しているのは、武田薬品、第一製薬であり、逆に10%未満で2期連続低下しているのがウェルファイドである。

### 自己資本税引き後利益率 (図 19)

株主に直接意味のある指標が、自己資本(資本金、法定準備金、剰余金)をもとに、最終的にいくらの利益が得られたかを示す自己資本税引き後利益率である。

武田薬品、山之内製薬、藤沢薬品の利益率が2期続けて向上している。特に藤沢薬品は2年前に赤字であったが、大きく挽回し、2位となった。一方、エーザイは2期連続減少して下から2番目となり、株主にとっての魅力度を失いつつある。

また、昨年から比べると三共が大幅減となった。これは、商品の販売中止による整理損を特別損失として計上したため、製薬業界のリスクの大きさを表しているといえよう。

### (3) 安全性

#### 流動比率 (図 20)

流動比率は、近い将来支払が発生する負債（流動負債）を払うために、現金化できる資産（流動資産）がどれくらいあるかを示している。流動負債の2倍の流動資産があれば、いざという時に負債を返済しても手元に十分な現金が残ることから、200%以上あることが好ましいといわれている。

製薬メーカーでは、3年前に下から2番目であった田辺製薬が、その後、毎年流動比率を向上させ、現在、ウェルファイドと兼業の協和発酵を除いて、全て200%以上の水準となった。ウェルファイドは平成10年4月にミドリ十字と合併しており、単純に過去の数値と比較できないが、合併の困難さがうかがえる。

#### 当座比率 (図 21)

流動資産に含まれる棚卸資産は、負債返済のためにすぐに売却・現金化できるとは限らない。そこで、より換金性の高い当座資産（現預金、売掛金、有価証券）のみに着目したのが当座比率である。これは流動負債と同等、つまり100%が望ましい。

大手製薬メーカーは兼業の協和発酵を除いて全て100%超であり、時系列の傾向は、流動比率とほぼ同じである。

#### 固定比率 (図 22)

固定比率は、換金性の低い固定資産をどのくらい自己資本（長期的に返済の必要のない自己資本）で賄っているかを評価するものである。長期にわたって回収していく固定資産は自己資本の範囲内にすべきであるとの考え方から、100%未満が目標とされている。この指標が小さいほど安全性が高い。

ここで取り上げている大手製薬メーカーはいずれも100%を切っており、安全性は高い。中でも、3年連続で低下している武田薬品の固定比率はついに40%にまで下がっている。

#### 自己資本比率 (図 23)

自己資本比率は、総資本に占める自己資本の割合である。この比率が高いほど、他人資本が少ない。他人資本が少ないということは、借入れに対して支払う利子が少ないということである。それだけでなく、他人資本が少ないと、返済金額および返済期限の縛りが少ないわけであり、投資など意思決定の自由度も高まる。

大手製薬メーカーのうちでは、半数以上の企業が、過去3年間連続して自己資本比率を向上させてきている。

### (3) 効率性

#### 総資本回転率 (図 24)

総資本回転率は、つぎこんだすべての資本が、どれだけ効率的に売上を挙げているかを示している。同じ資本の額でも、仕入、生産、販売を活発に行い、より多くの売上高を挙げているほうが効率が良い、と見るわけである。

この指標が2期連続で向上しているのは、第一製薬、塩野義、藤沢製薬である。中でも塩野義は0.94回であり、1年間でほぼ総資本に等しい売上を挙げていることになる。

#### 有形固定資産回転率 (図 25)

総資本は、資産の合計と同じである。そこで次に、資産の費目別にどれだけの売上を生み出しているかを見ていく。売上高を有形固定資産で割ると、保有している設備からどれだけの売上高が挙げたかがわかる。この比率が低い企業では売上に対して設備が過剰になっている恐れがある。

製薬メーカーでは、塩野義、大日本製薬の回転率が5回以上である。また3年連続で向上しているのは、武田薬品、第一製薬である。武田薬品は安全性の各指標も高かったが、更に効率性も高く、攻めと守りのバランスがとれているようである。

#### 棚卸資産回転月数 (図 26)

棚卸資産回転月数は、棚卸資産が1回転する月数、すなわち平均的に売上高の何ヶ月分の在庫が滞留しているかを示している。

ウェルファイドの回転月数が3年連続で増加しているが、これは、売上高が減少しているにもかかわらず、合併後に増えた棚卸資産額が減っていないためである。

#### 売上債権回転月数 (図 27)

売上債権回転月数は、売掛金・受取手形・割引手形を1ヶ月あたりの売上高で割ったものであり、売上債権を何ヶ月で回収できているかを示す指標である。もちろん短いほど良い。

3年連続で低下しているのは、武田薬品、中外製薬であるが、いまだに武田薬品で3.1ヶ月、中外製薬で4.1ヶ月かかっており、平均して3.7ヶ月の長さにとどまっている。中には、山之内製薬のように3ヶ月を切っているところもあることから、業界特性とばかりは言い切れまい。5ヶ月近い大日本製薬などでは、急な資金需要に対応できない恐れもある。

### 3. 外国企業との比較

国内では、他の産業と比べて極めて好調な製薬メーカーだが、外国企業とも互角に戦えるのだろうか。以下、グローバルな視点でとらえた時の日本企業の強さについて分析する。

#### (1) 世界市場における日本企業の位置付け

##### 海外売上高 (図 28, 29)

武田薬品が2年連続で海外売上高を伸ばし、平成11年度には2,000億円を超えている。また、エーザイも2年連続で海外売上高を伸ばして1,000億円に迫る勢いである。しかし、他の企業は海外での売上高が頭打ちになっており、海外売上高が1,000億円を超える企業は4社(武田薬品、山之内製薬、三共、藤沢薬品)である。

一方、外国企業の日本進出はどうだろうか。米国メルク資本の萬有製薬を含めると、ヘキスト・マリオン・ルセル(現アヴェンティス)、ファイザー製薬、ノバルティス・ファーマの4社がすでに日本で1,000億円の売上を達成している。ほかに10社以上の企業が日本で数百億円のシェアを持っている。日本企業で、海外で100億円以上の売上を挙げているのは、あわせても11社である。日本市場の大きさを考慮すると、日本企業の海外進出を圧倒的に凌ぐ勢いで外国企業が参入してきているといえるだろう。

##### 外国企業との売上高比較 (図 30)

武田薬品やエーザイが2年連続で海外売上高を伸ばしているとはいえ、まだまだ外国企業に太刀打ちできる規模にない。外国企業は合併の結果巨大化しており、大手では全世界の医薬品部門の売上高が1兆円を超えている。日本ではトップの武田薬品でも医薬品売上高は連結ベースで6,798億円であり、世界市場で見れば、上位10社に遠く及ばない。

#### (2) 研究開発投資と成果の違い

国内の他の産業に比べると製薬メーカーの売上高研究開発費比率はかなり高い。総務庁の調査によると、他の産業の売上高研究費比率が3~6%であるのに対し、医薬品工業では8.1%である(図31)。

しかし、絶対額で外国企業と比較すると、日本の製薬メーカーの売上高はまだまだ小さい。医薬品部門だけではない全社研究開発費データであるため一概に比較はできないが、外国企業は2,000~3,000億円もの研究開発費を投じている。翻って日本では、武田薬品でも773億円に止まっているのである(図32-1)。売上高研究開発費比

率で見ても決して高くはない（図 32-2）。

では、研究開発投資の差は、結局どのような格差を生んでいるのだろうか。

日本における医薬品関連特許数を見ると（図 33）、トップ 10 社のうち 6 社が外国企業である。特許という限られた指標ではあるが、日本企業の研究開発投資額の小さいことも一因であると思われる。

日本の製薬メーカーは医薬品卸、さらに他の産業に対して、かなり高い利益率を確保している。しかし、その利益をもって研究開発投資額を高め、市場で認められる商品を消費者に還元する余地がまだまだあるのではないだろうか。

#### 4. 総合評価

##### （1）製薬会社の経営努力（図 34～36）

日本の多くの企業で、いわゆる「リストラ」が進んでいる。武田薬品も 3 年前から 2 割以上の人員を削減してきた。しかし、武田薬品以外の企業では、従業員数は横這いかせいぜい微減程度である。業界全体として、人員合理化によるコスト削減を進めているというよりむしろ、現状の要員を維持し、売上確保に努めているといえる。

また、専門知識が必要とされるとはいえ、製薬メーカーの給与水準は極めて高い。経常利益の最も大きい武田薬品では、1 人当たり月額 51 万円、経常利益が小さい大日本製薬でも 43 万円となっており、社員には十分な還元がなされているといえる。なお、兼業の協和発酵では 38 万円と、武田薬品からは月額 13 万円の開きがあり、化学工業平均に近い水準である。

製薬メーカーは、高利益率を確保して従業員に高い給与を払っているが、顧客にもその収益の一部が還元されているのだろうか。ここでは過去 2 年間の消費者物価指数を見てみた（図 36）。消費者物価指数は、近年、教育に関する指標が上昇しつつあるが、我々の生活に欠かせないライフライン産業である光熱・水道・通信はいずれも低下してきている。このような中、医薬品の物価はほぼ横這いである。他の物価が下がっているため、消費者から見ると相対的に医薬品の価格が高めに感じられる実態かと思われる。

##### （2）「製薬メーカーの通知表」

今回分析対象として製薬上場上位 15 社について、経営実態を一口で表し、かつ今後の展開を予測するため、連結ベースでの総合評価を行った。

評価の視点は、次の 3 点である。

成長力（これまでの傾向と将来に向かっての勢い）

安定力（規模と安定性）

収益力（儲ける力と儲け方の効率性）

成長力については、売上高伸び率、経常利益の伸び率のほか、将来への布石として

の研究開発費比率、将来を切り拓く若いエネルギー（平均年齢）、国際市場での競争力指標としての海外売上高比率を採用している。また、収益力については、株主から見た魅力度を測定するため、「時価総額÷総資産」を項目のひとつに加えてみた。

評価は、決算短信ベースで必ずしもデータが十分でないこともあり、各項目を得点化し、視点ごとにウェイト付けをする簡便な方法で行った。評価結果は表1のとおりである。

総合トップは武田薬品である。売上高規模が最大であり、財務面の安全性も優れているため、安定力は満点となっている。しかし、平均年齢が高く、海外売上高比率があまり高くないため、これらの項目を加えて評価した成長性がやや低い。同社は、大幅な従業員削減、業界に先んじた業績重視の人事評価制度の導入など、経営改革を進め、揺るぎない地位を築いてきた。今後は、外国企業に伍して戦える国際競争力の強化が鍵となろう。

2位には大正製薬、3、4位には規模が比較的小さい小野薬品、萬有製薬がそれぞれ入っている。大正製薬と小野薬品は昨年まで連結決算を公表していなかったことから、成長性については単独ベースの実績を用いた。萬有製薬については米国メルク社の子会社であり、連結決算を行っていないため、すべて単独ベースでの評価である。

これらの事情から、他の企業と横並びで比較することにはやや適切を欠く面もあるが、これら3社は、安定力の評価指標のひとつである安全性、収益力に含まれる効率性が高い。優位性のある商品に絞り込んで、強味を生かせば、規模は小さくても勝ち残れる可能性があることを示唆している。

売上高規模で2位の三共は、成長性が低く、8位に止まった。研究開発費比率、海外売上高比率が低く、次世代への備えが弱いためである。

売上高規模で、3位の山之内製薬、4位の塩野義も、成長力が弱い。山之内製薬は売上高が頭打ちとなっていること、塩野義については海外展開があまりなされておらず、研究開発費比率も少ないことがその原因である。何らかの手を打たなければ、規模はそこそこだが、旧態依然で特徴のないこれらの企業の将来性は危ういものとなるう。

最下位は協和発酵である。医薬品売上高規模が国内トップ15位に入るため、今回の分析対象としているが、医薬品売上高比率が36%と低いので、医薬品業界の中で比較するのはやや無理もある。

協和発酵を除いて低いのが、田辺製薬である。他社が比較的好調な中で、昨年から

今年にかけて売上高を 3% 落としたこと、売上高が落ちた割には、従業員数や資産規模を圧縮できていないことが響いている。また 15 社中、時価総額が最も小さい。

続いて低いのがウェルファイドである。ウェルファイドは平成 10 年 4 月にミドリ十字と合併したため、伸び率を過去 1 年分でしかとっていない。過去 1 年間は薬価引下げもなく、各社とも売上はこれまで以上に好調であった。その意味では、ウェルファイドの成長力ポイントがやや高めに出ており、実際には、もう少し得点が低い可能性もある。ウェルファイドは各指標ともに低い、その中では、効率性が低い。ミドリ十字と合併したものの、その後、効率的な動きがとれず、いまだ合併効果を楽しんでいない模様である。

## 5. まとめ

決算短信による速報的な分析であるが、やはり製薬メーカーが独り勝ちを収めていることを確認できた。更に、国内では優位であるが、外国企業に比べるとまだまだ規模の差があること、ひとくちに「良い」といわれている製薬メーカーの中にも、更に良い方向に向かっている企業と、やや取り残されつつある企業とに分かれつつあることも明らかになった。

ただ今回の分析は、実態の確認に止まっており、製薬メーカー独り勝ちの背景にまでは踏み込めていない。今後は、製薬メーカーを取り巻く周辺産業も含めて、有価証券報告書ベースでの詳細分析を進め、構造的な問題点を解きほぐしていきたい。

### 【参考資料】

製薬協「製薬協活動概況調査票」(製薬協ホームページより)

厚生省健康政策局「医薬品産業実態調査報告書(平成 10 年度)」

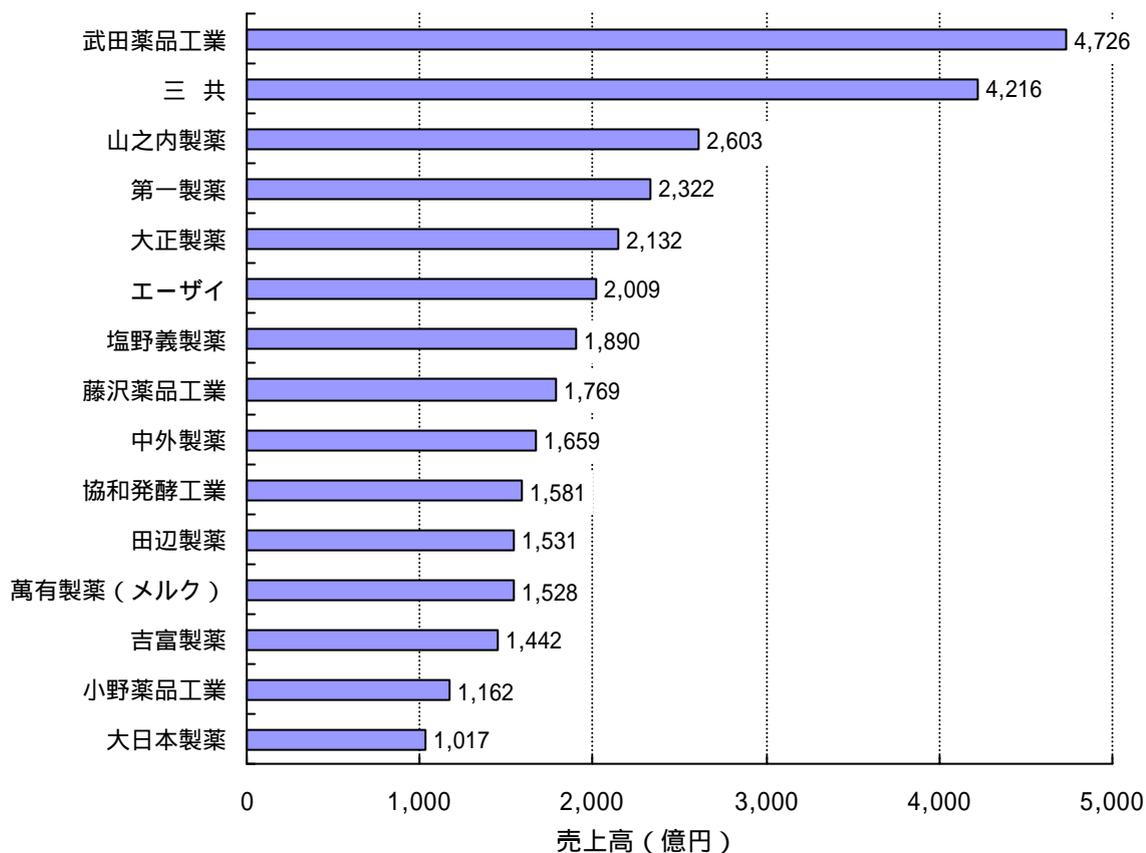
大蔵省「法人企業統計調査」

総務庁「平成 11 年科学技術研究調査」

国税庁「税務統計から見た民間給与の実態」

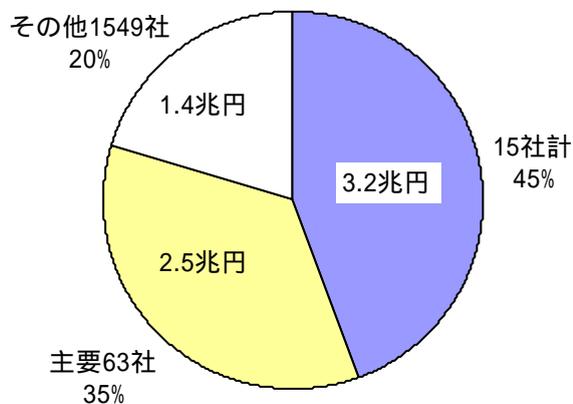
総務庁「消費者物価指数」

図1 医薬品売上高（単独/医薬品部門）  
平成10年度



医薬品売上高：「製薬協活動概況調査表」

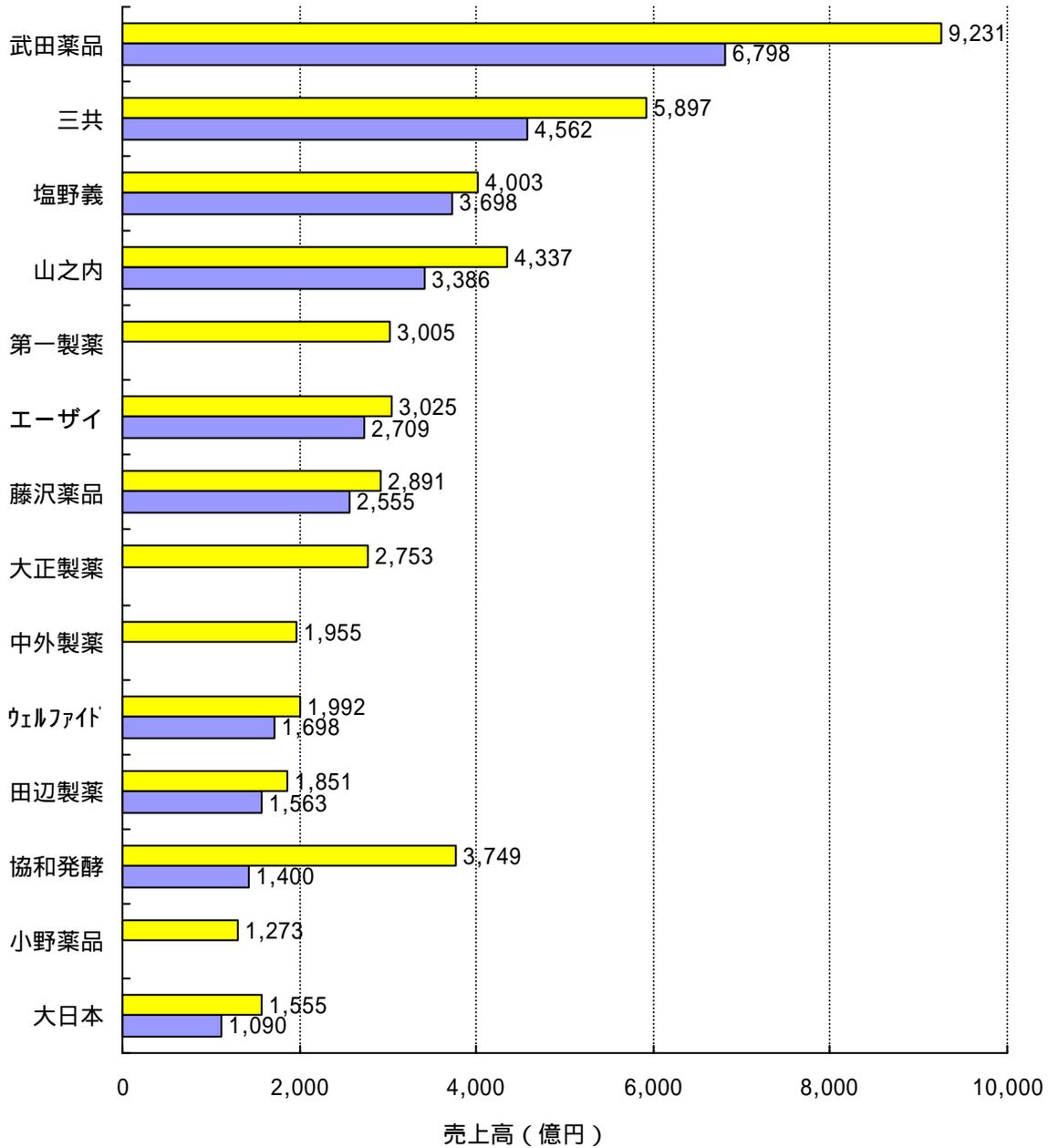
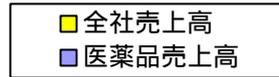
図2 15社の医薬品売上高シェア（単独/医薬品部門）  
総額7.1兆円



16位以下の企業の売上高：「医薬品実態調査報告書（平成10年度）」厚生省健康政策局  
主要63社：「製薬協活動概況調査票」

図3

医薬品売上高（連結）  
平成11年度



第一製薬、大正製薬、中外製薬、小野薬品は、医薬品以外の売上高が10%未満のため、決算短信での記載が省略されている

図4 製薬15社の売上高総額（全社）

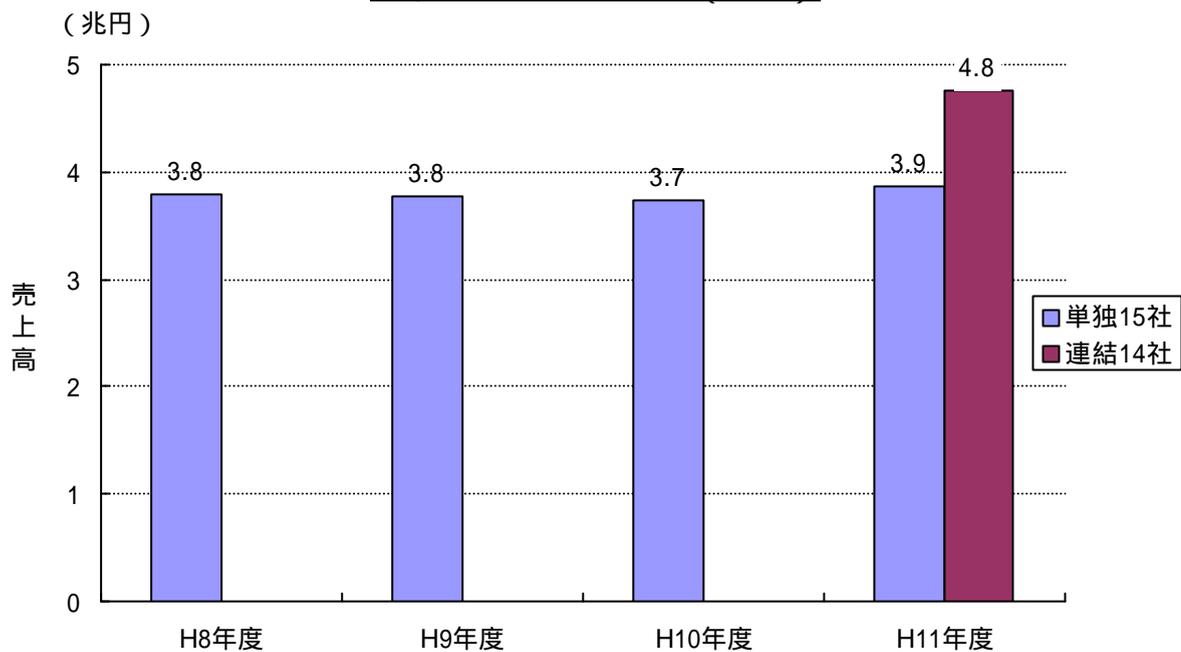


図5 製薬15社の経常利益総額（全社）

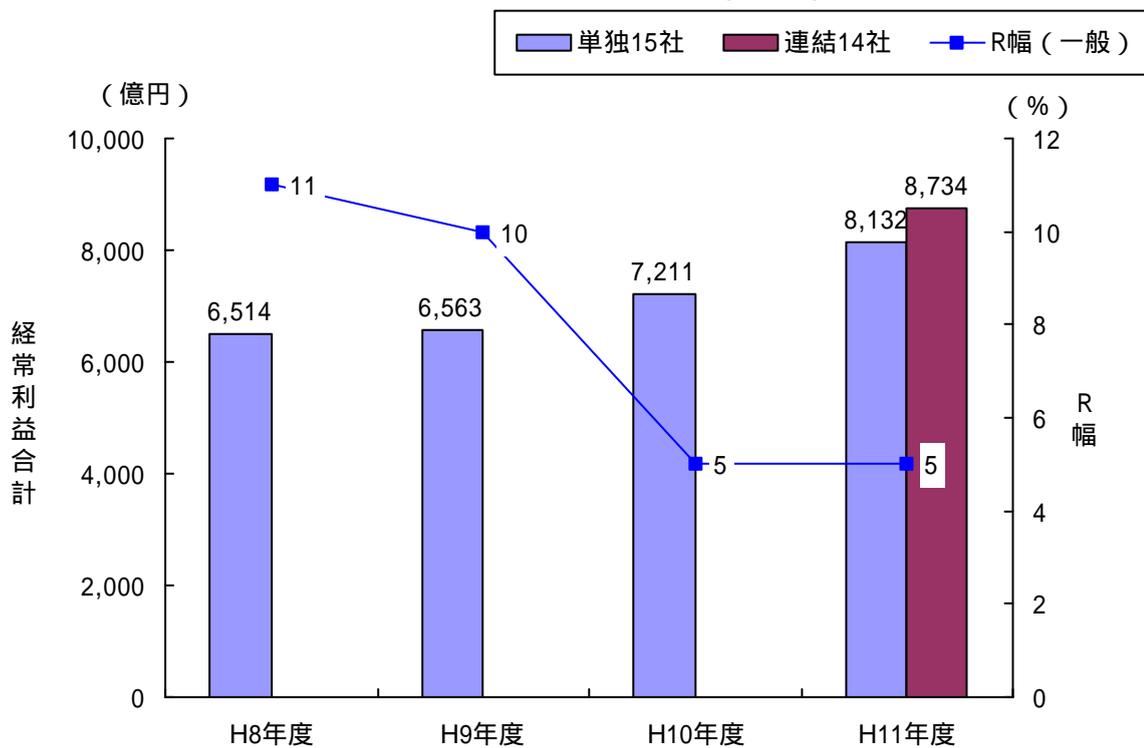
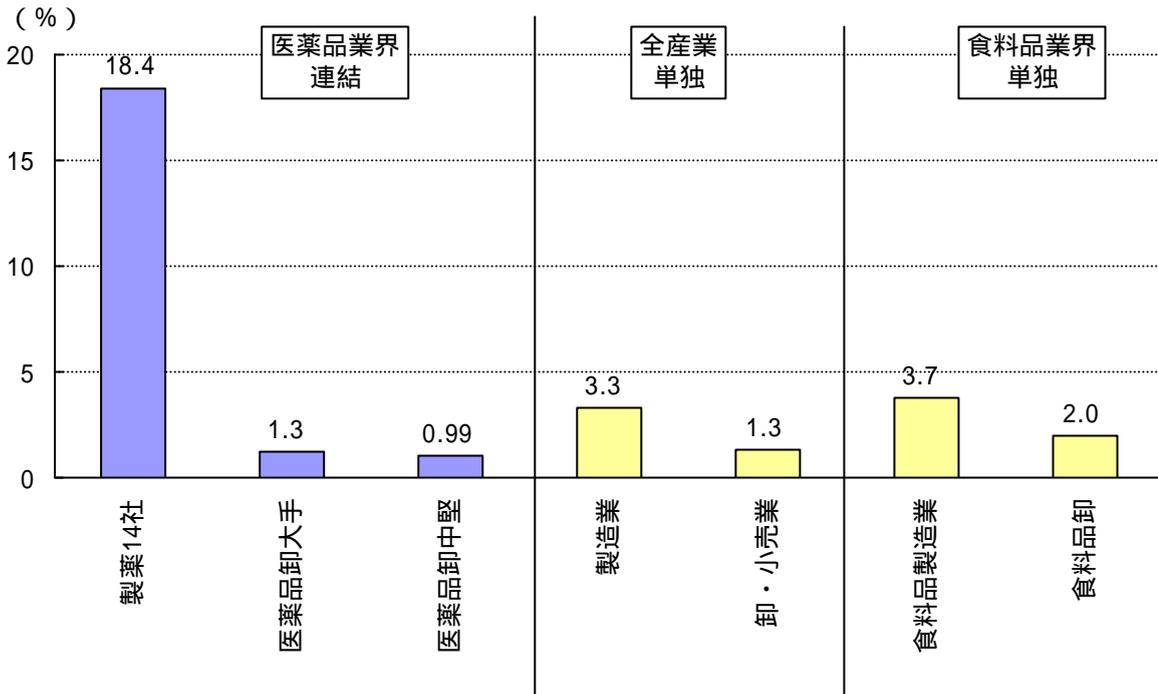


図6

売上高経常利益率の比較



製薬14社：連結決算を公表していない萬有製薬を除く

医薬品卸大手：クラヤ、三星堂、スズケン、アズウェル、東邦薬品（クラヤと三星堂はH12年4月合併）

医薬品卸中堅：ほくやく、成和産業、大木、イワキ、安藤薬業公司

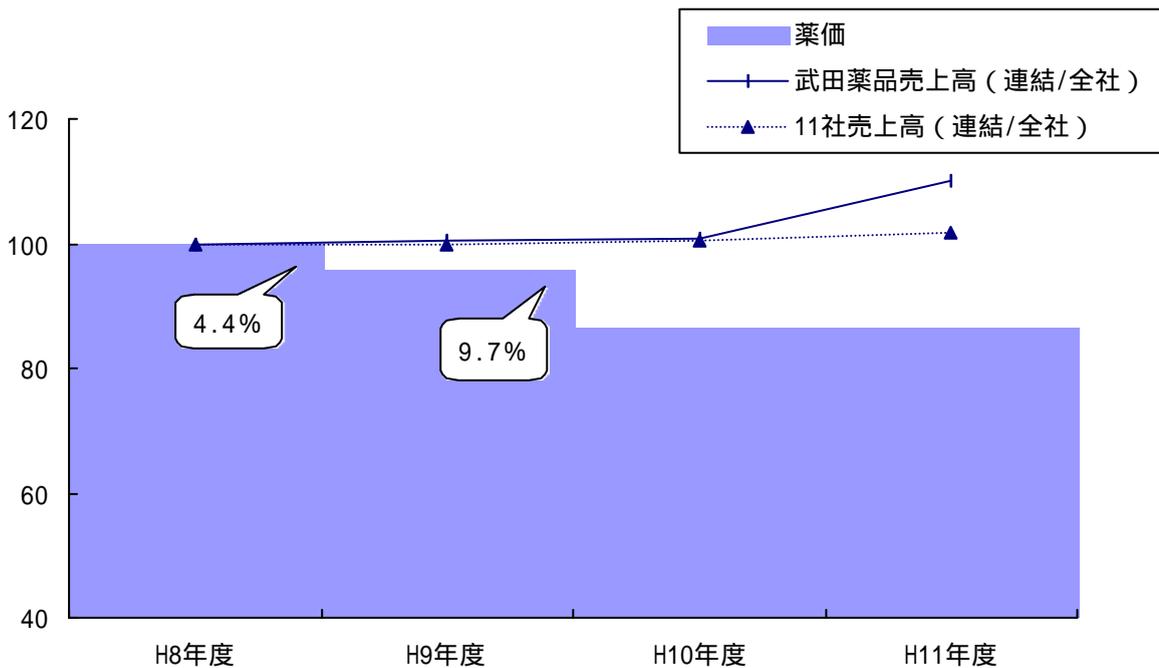
製造業、卸・小売業、食料品製造業：大蔵省「法人企業統計」

食料品卸：菱食、ユアサ・フナショク、加藤産業、正栄食品工業

図7

製薬メーカーの売上高と薬価の関係

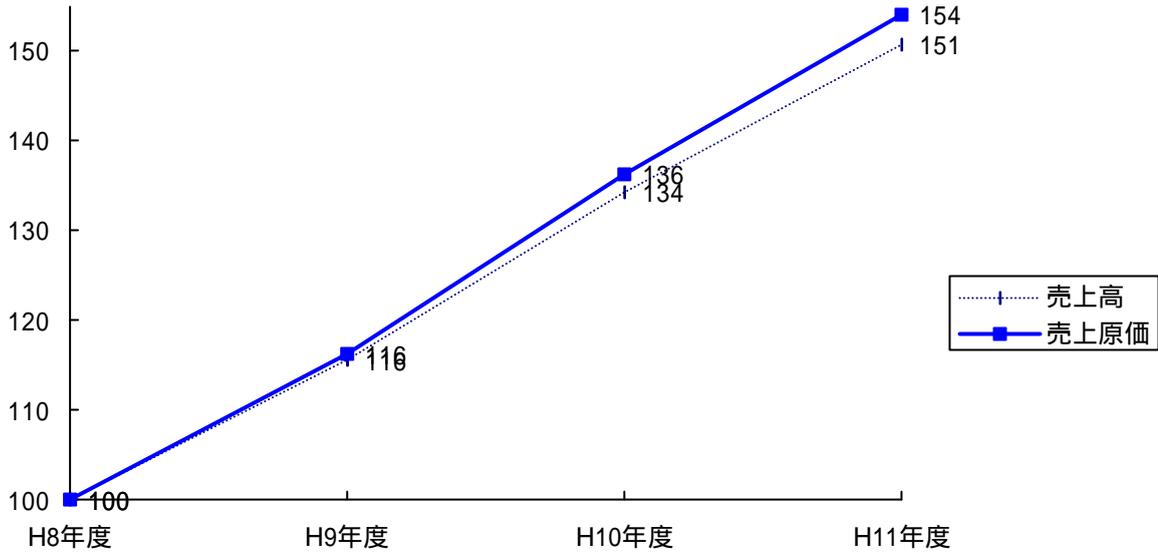
平成8年度を100とする



11社：対象15社より武田薬品と過去に連結決算を公表していない大正製薬、萬有製薬、小野薬品を除く

図8

医薬品大手卸の売上高・売上原価  
平成8年度を100とする



クラヤ、スズケン、アズウェル、東邦薬品のいずれも連結ベースでの平均

図9

医薬品大手卸の売上原価比率

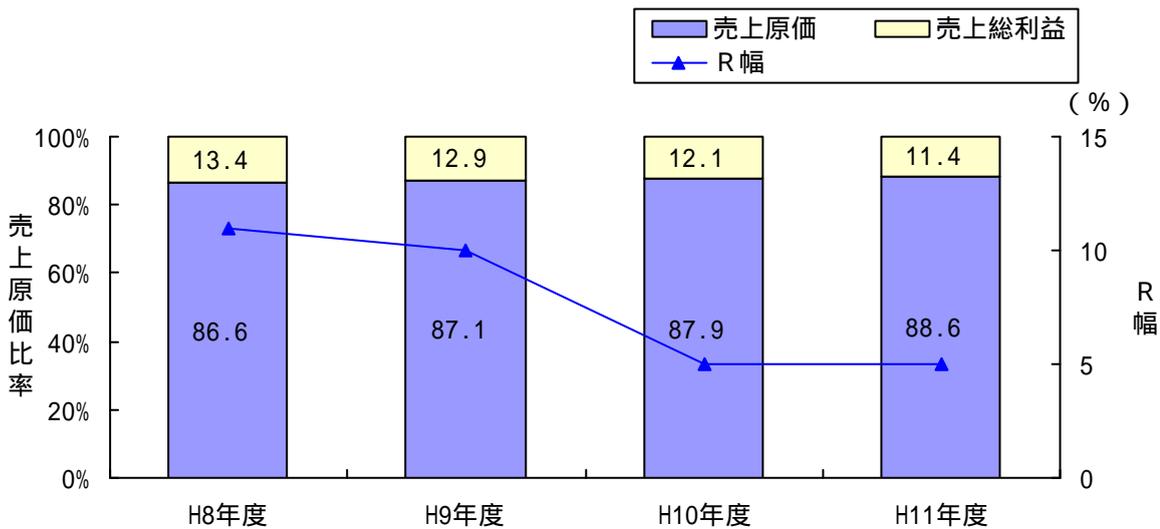
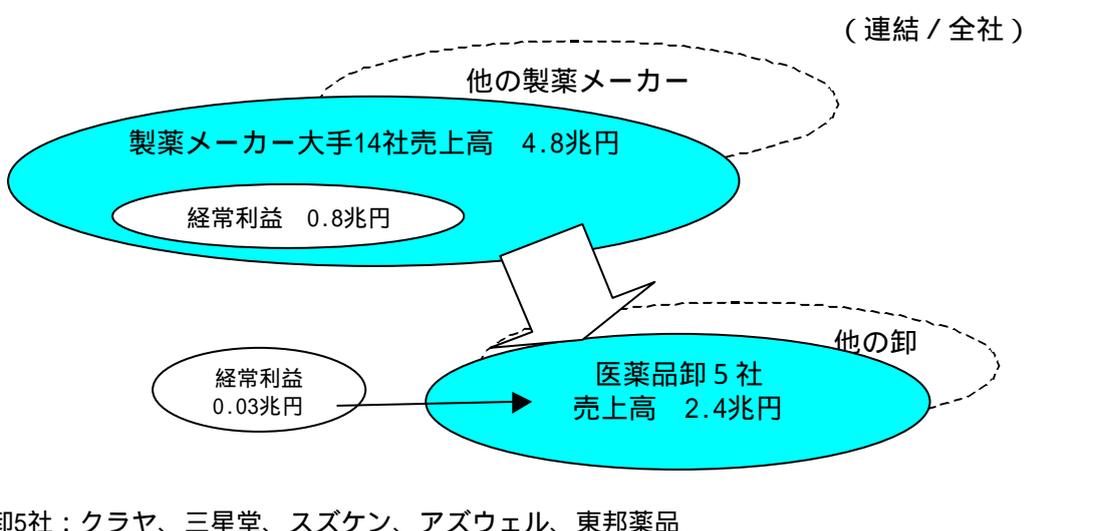


図10



医薬品卸5社：クラヤ、三星堂、スズケン、アズウェル、東邦薬品

図11-1 売上高(連結/全社)

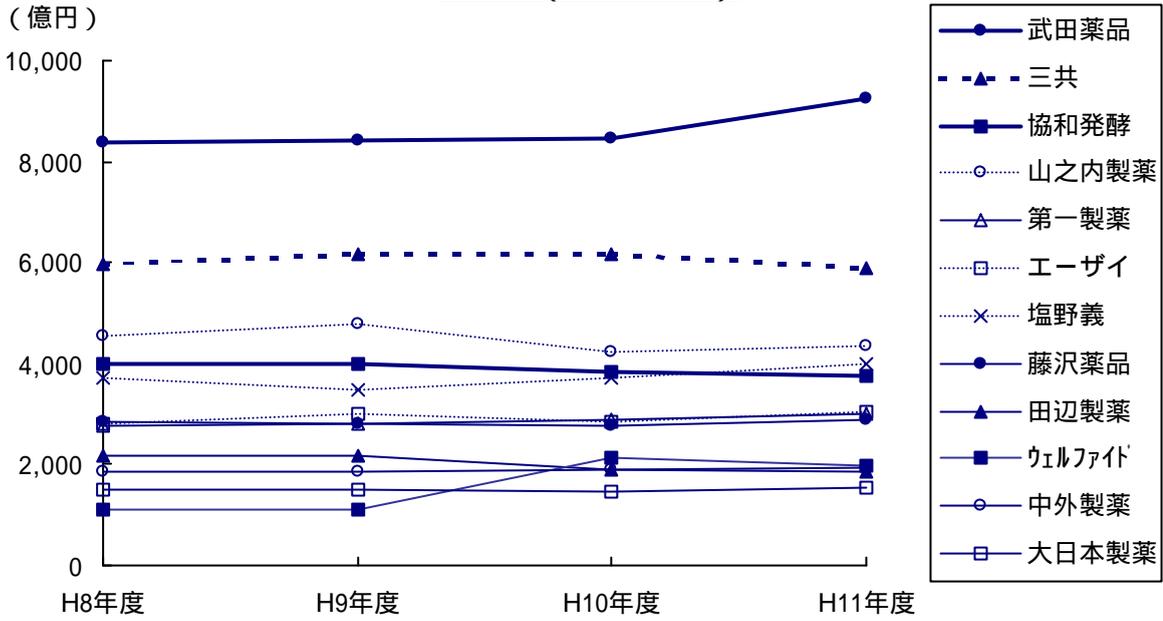


図11-2 売上高(単独/全社)

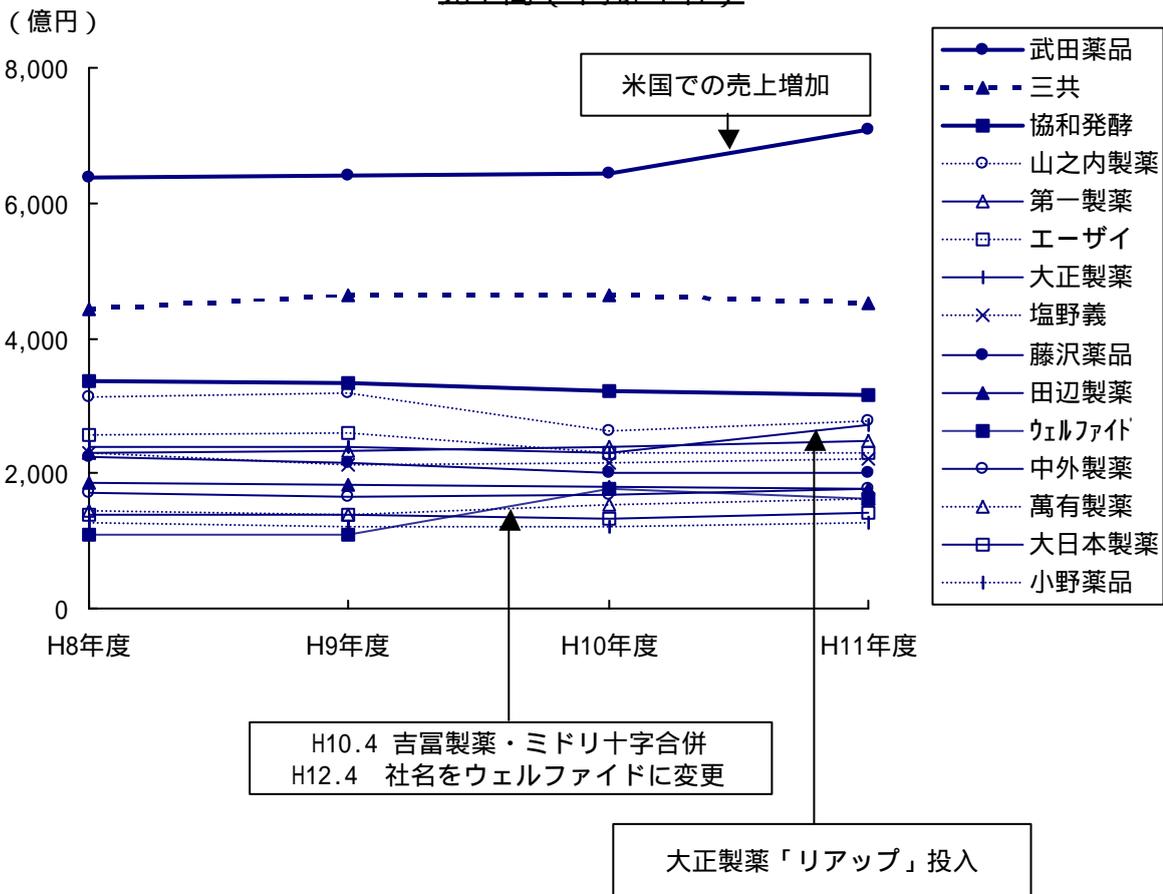
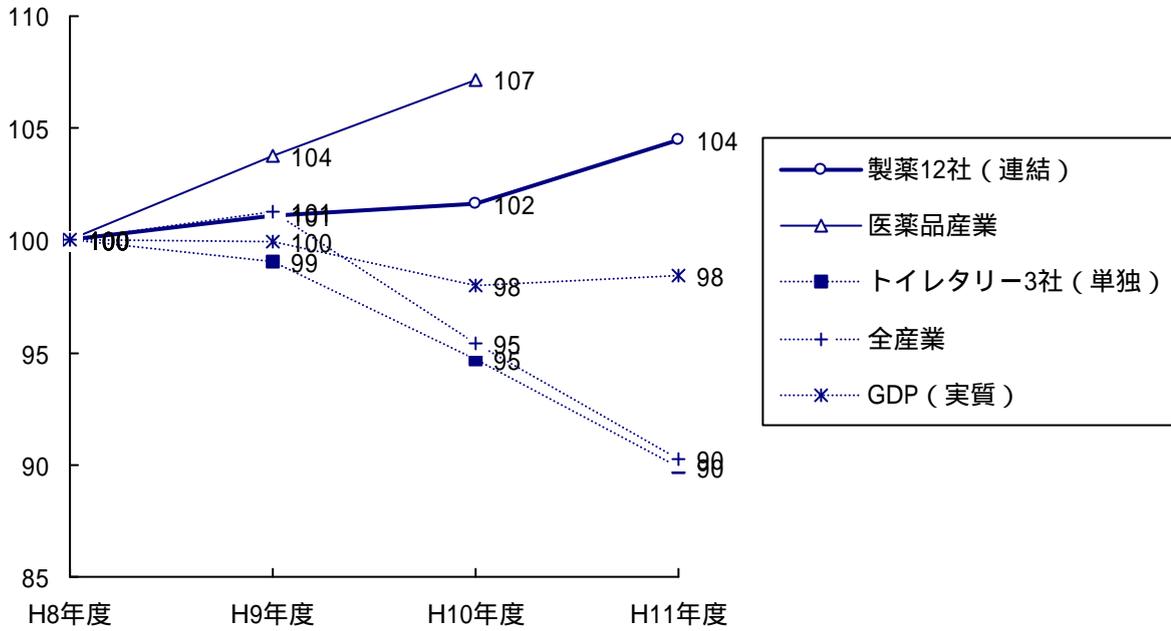


図12

売上高推移の比較（全社）  
H8年度を100とする



製薬12社：対象企業15社から、大正製薬、萬有製薬、小野薬品を除く  
 トイレタリー3社：花王、資生堂、ライオン  
 全産業：大蔵省「法人企業統計調査」  
 医薬品産業：厚生省「医薬品産業実態報告書」

図13

経常利益（連結/全社）

（億円）

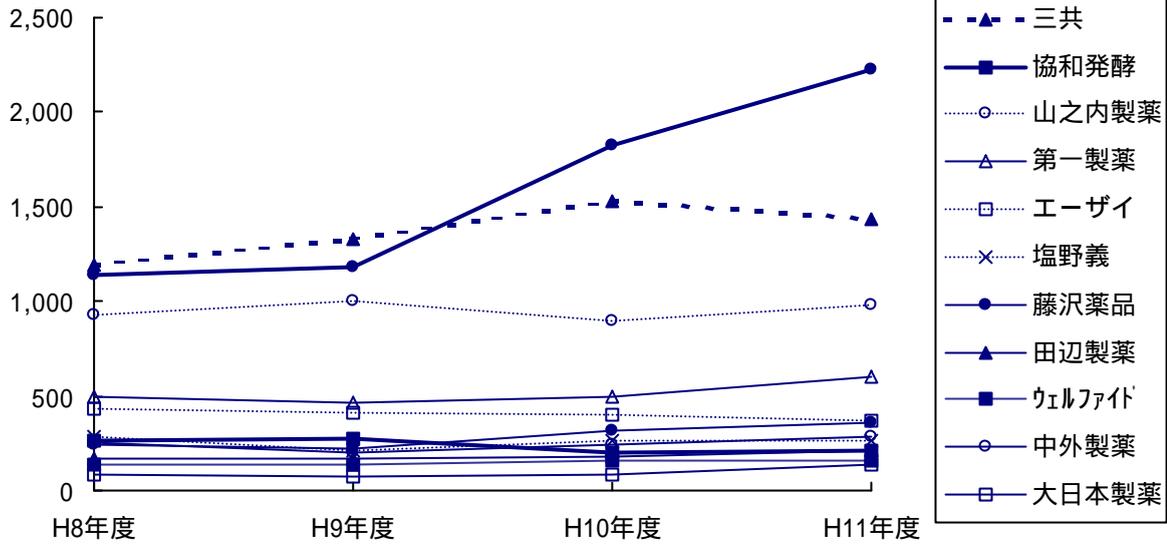


図14

経常利益（全社）の比較

上位10社まで

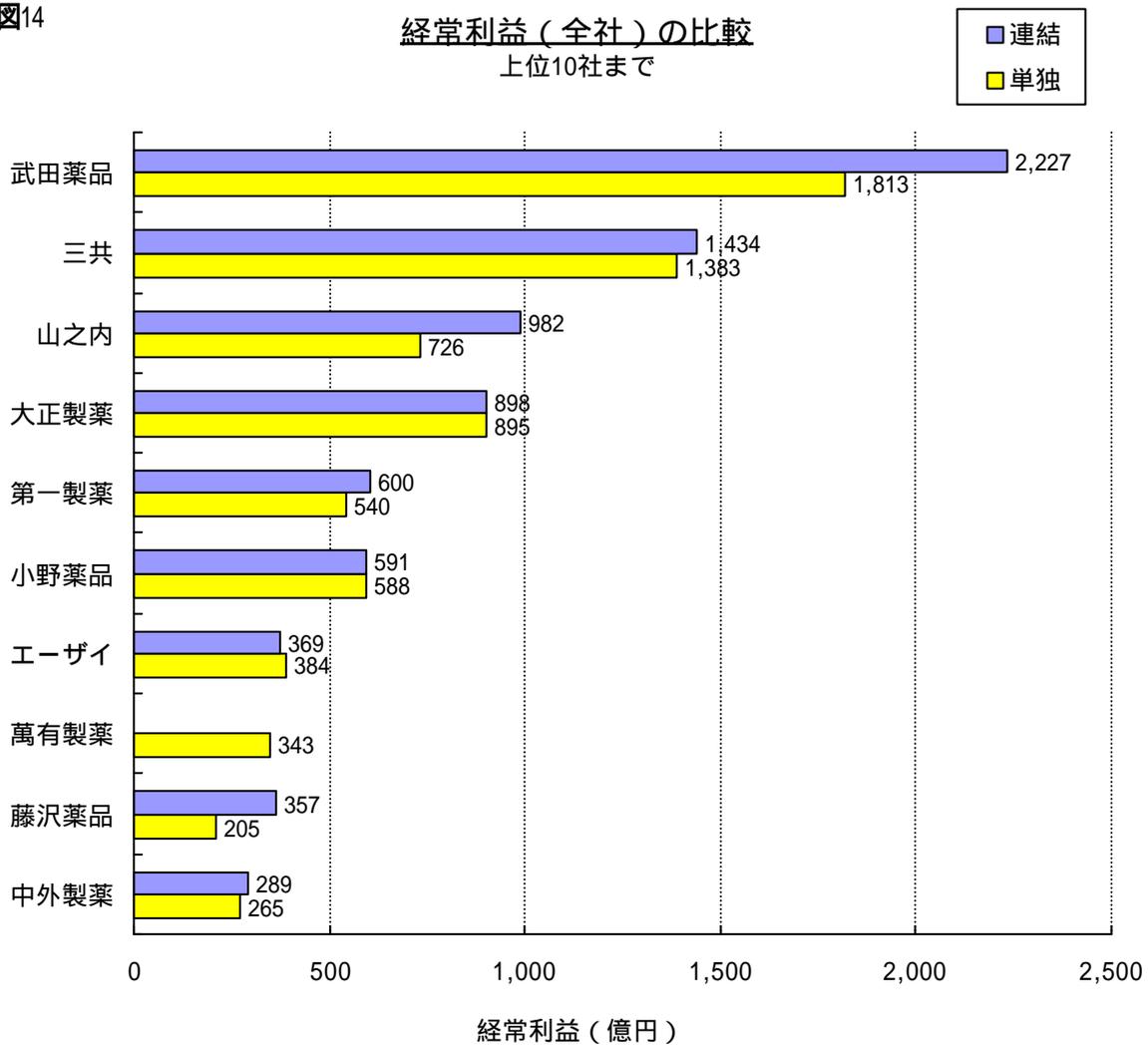


図15

売上原価比率（連結）

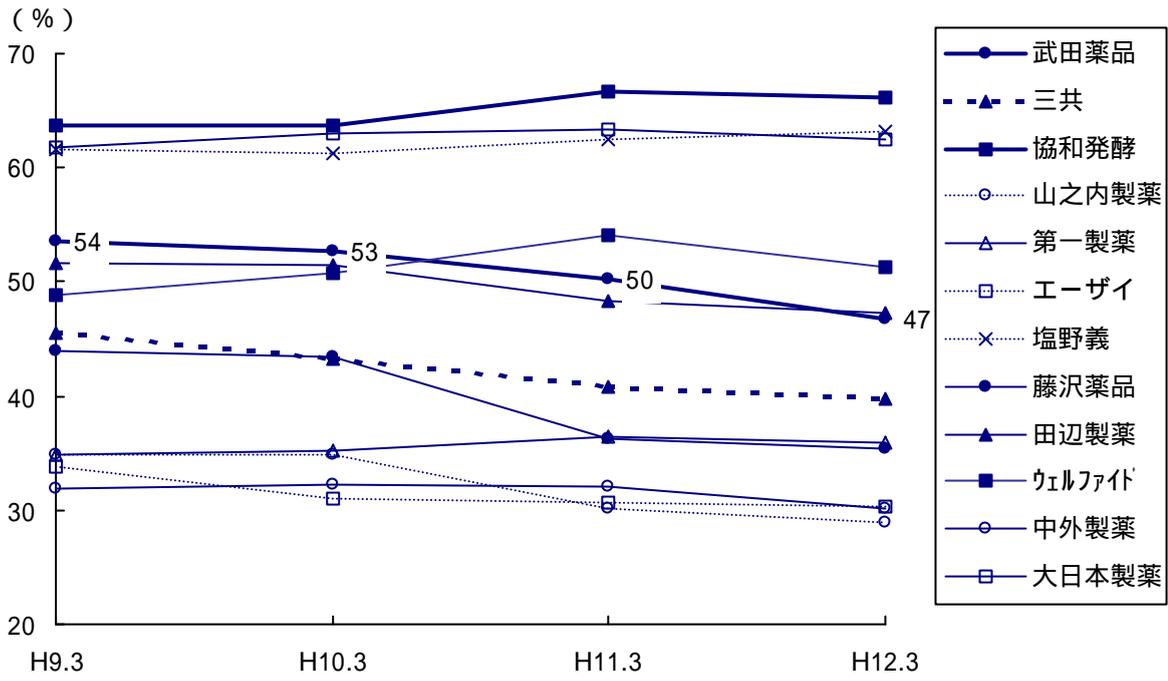


図16

売上高経常利益率（連結/全社）

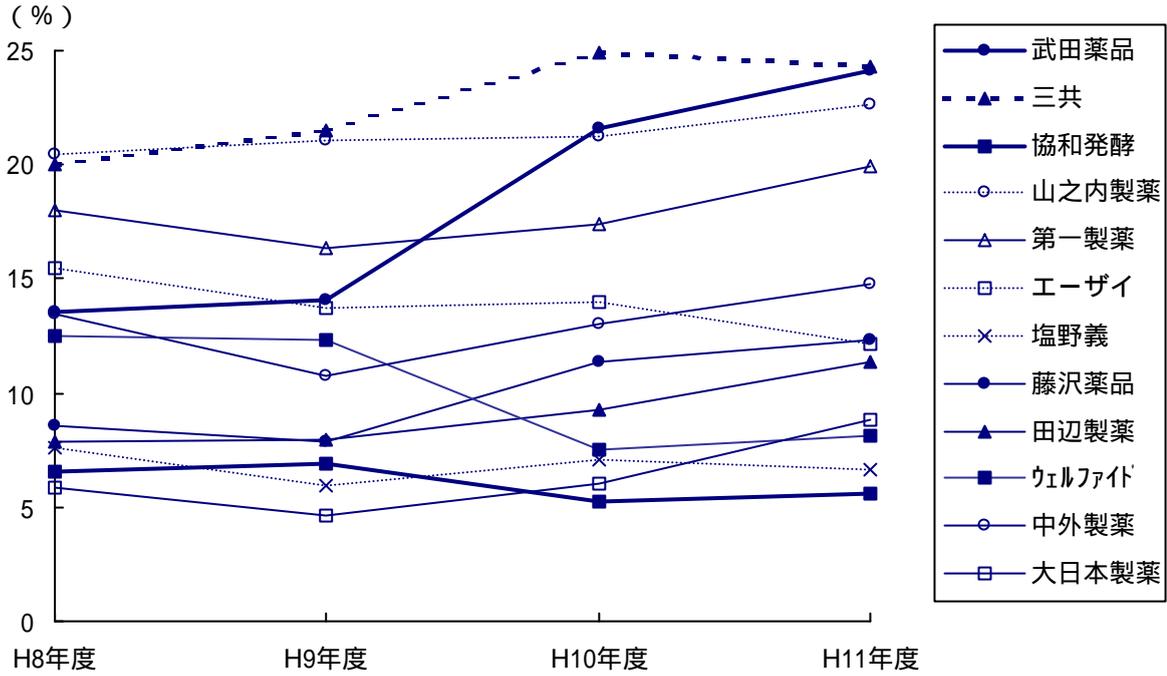


図17

損益分岐点比率（試算：全社）

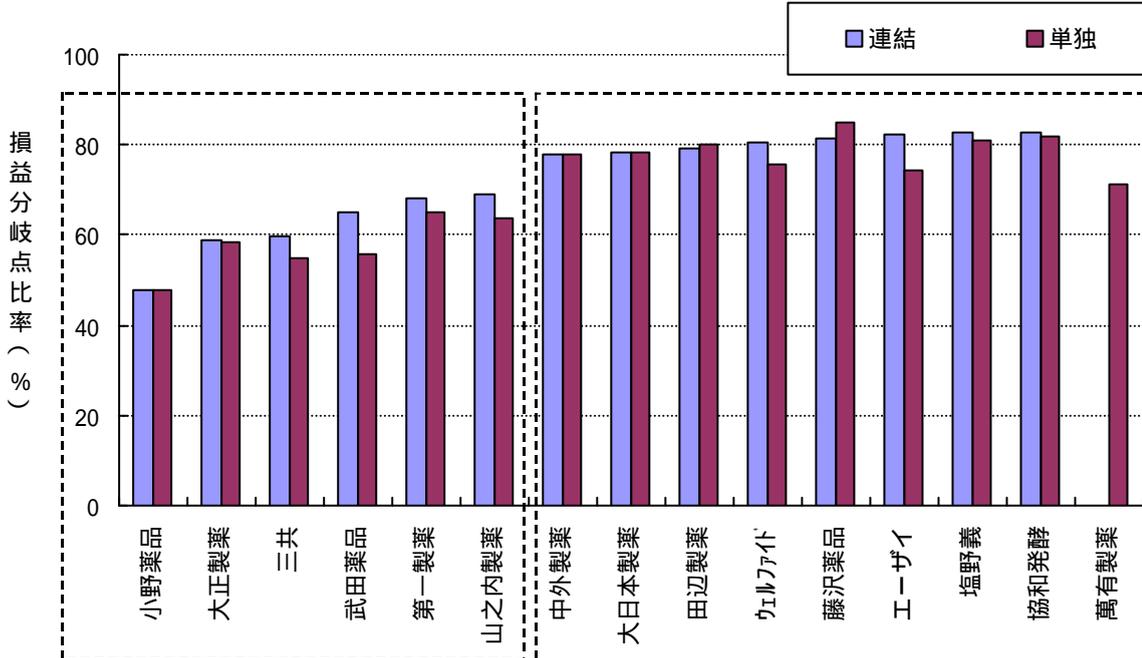


図18 総資本税引き前利益率（連結/全社）

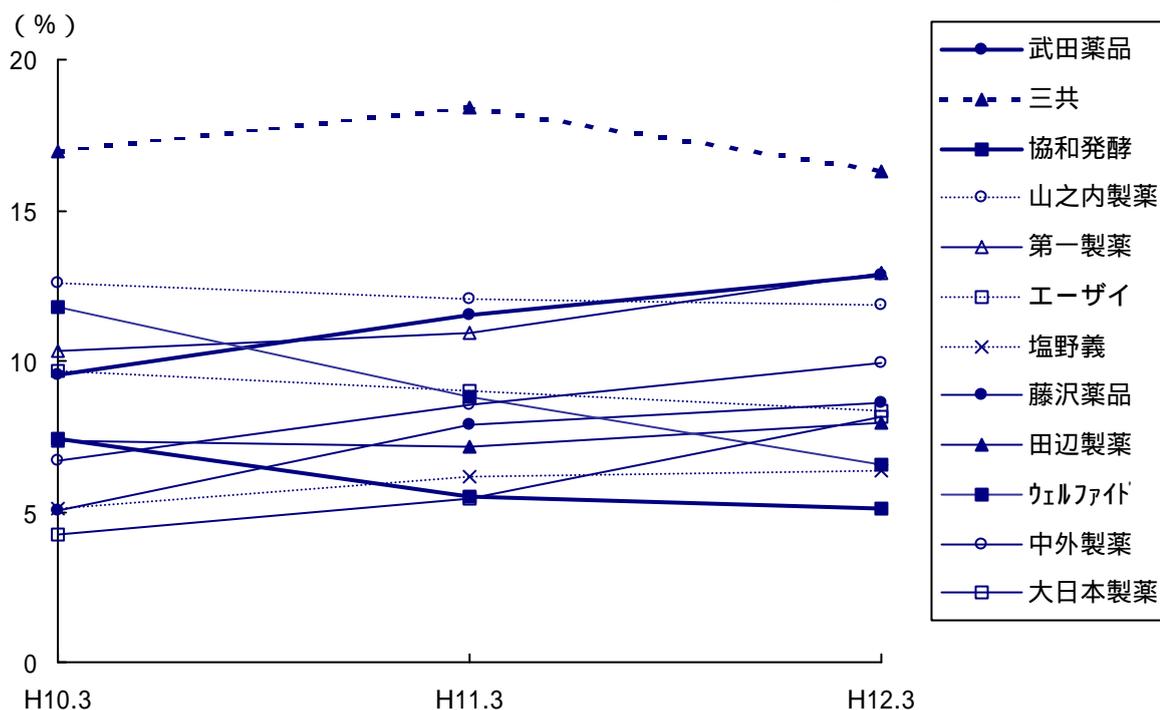


図19 自己資本税引き後利益率（連結/全社）

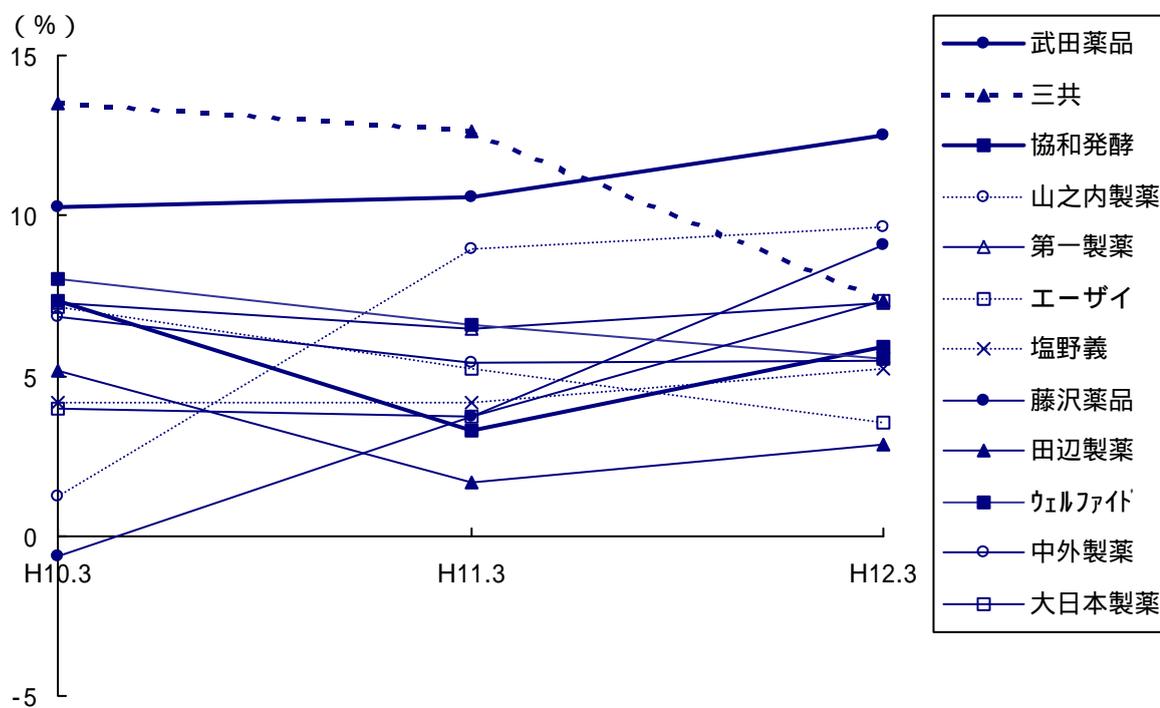


図20

流動比率（連結/全社）

(%)

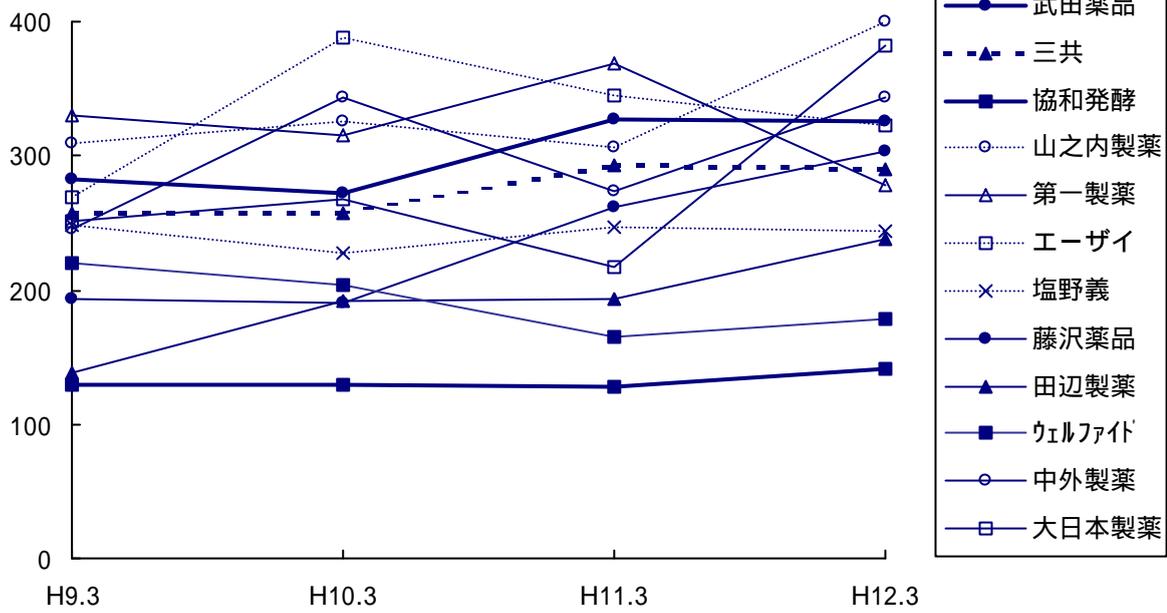


図21

当座比率（連結/全社）

(%)

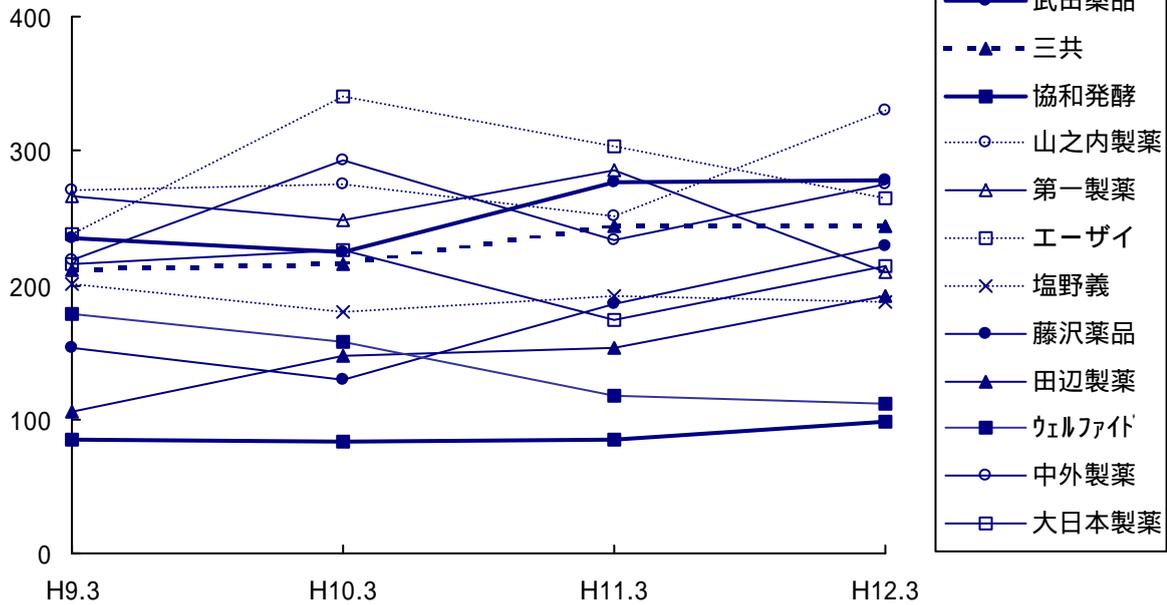


図22

固定比率 (連結/全社)

(%)

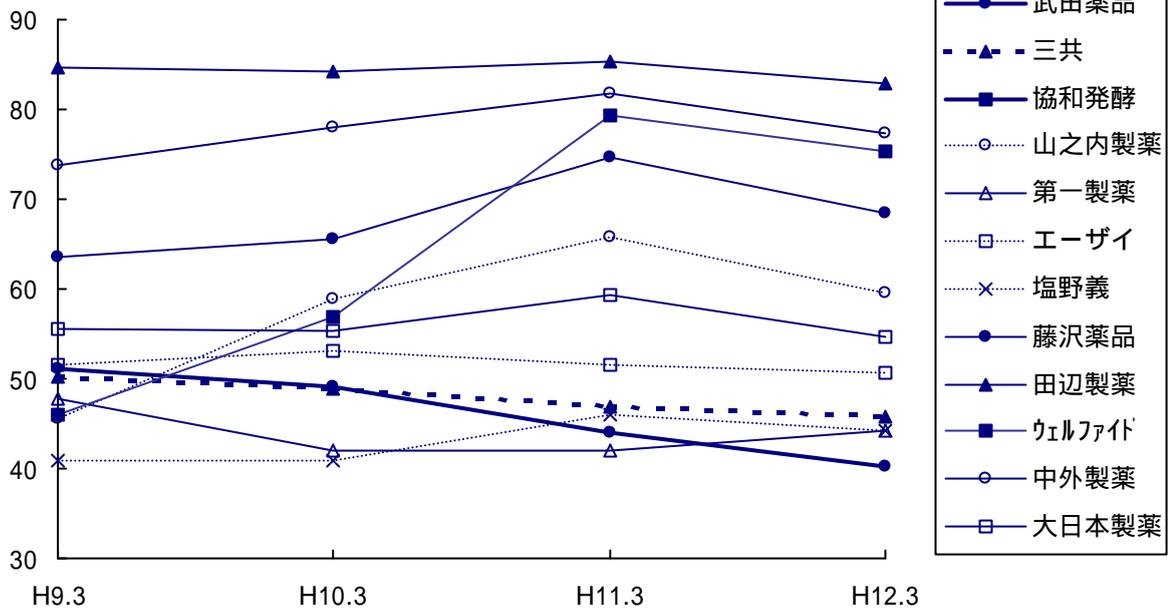


図23

自己資本比率 (連結/全社)

(%)

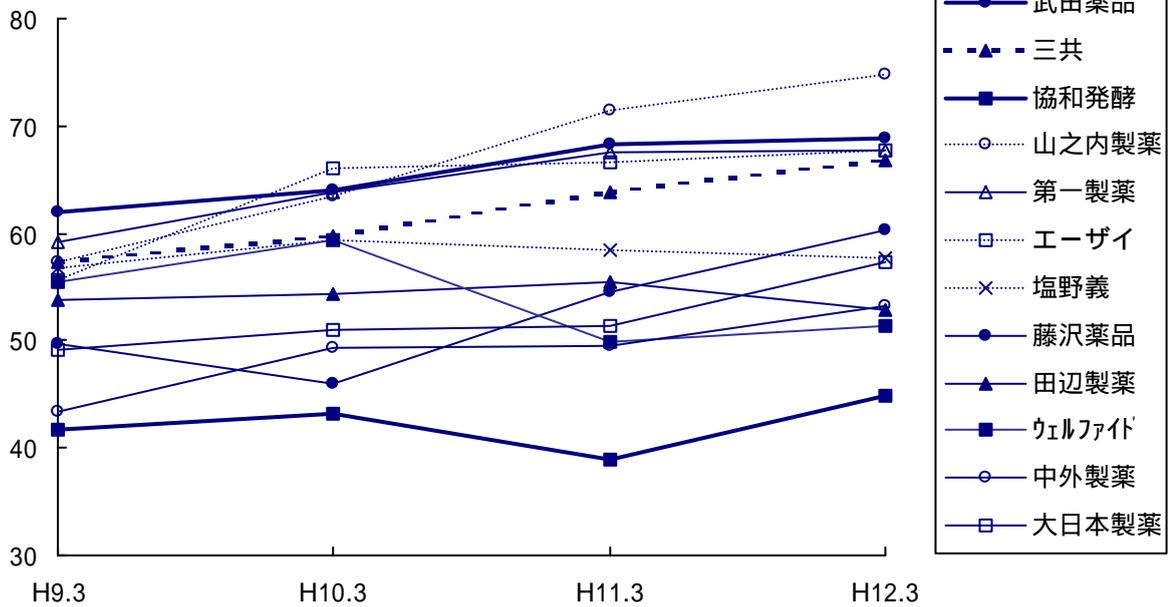


図24

総資本回転率 (連結/全社)

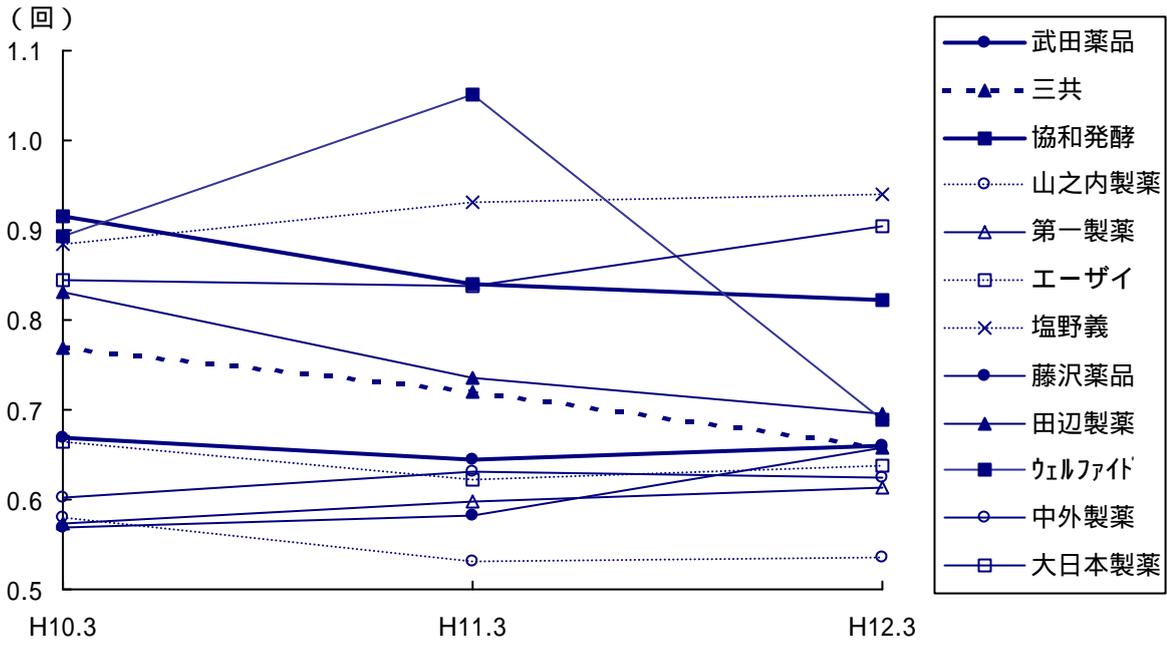


図25

有形固定資産回転率 (連結/全社)

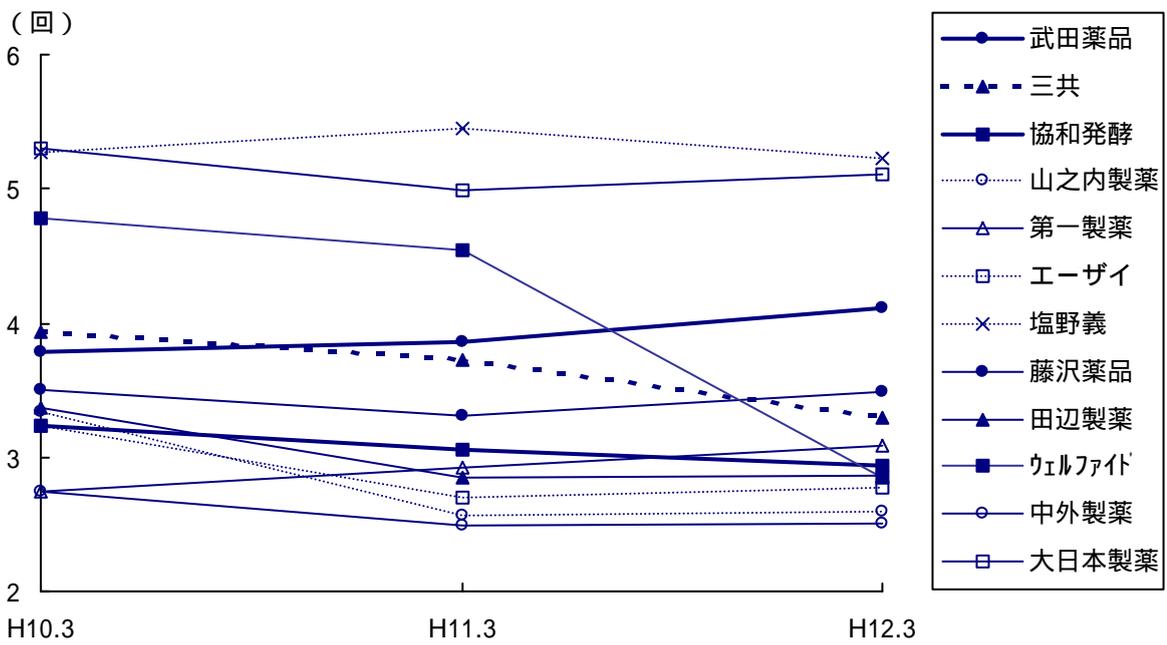


図26

棚卸資産回転月数（連結/全社）

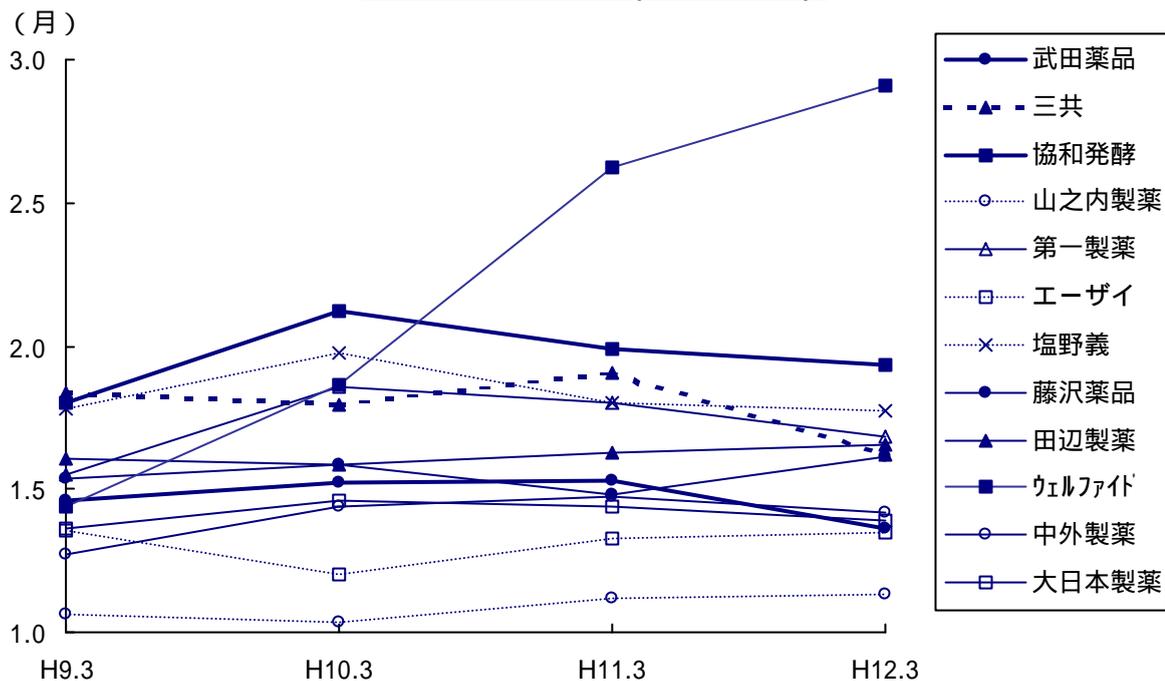


図27

売上債権回転月数（連結/全社）

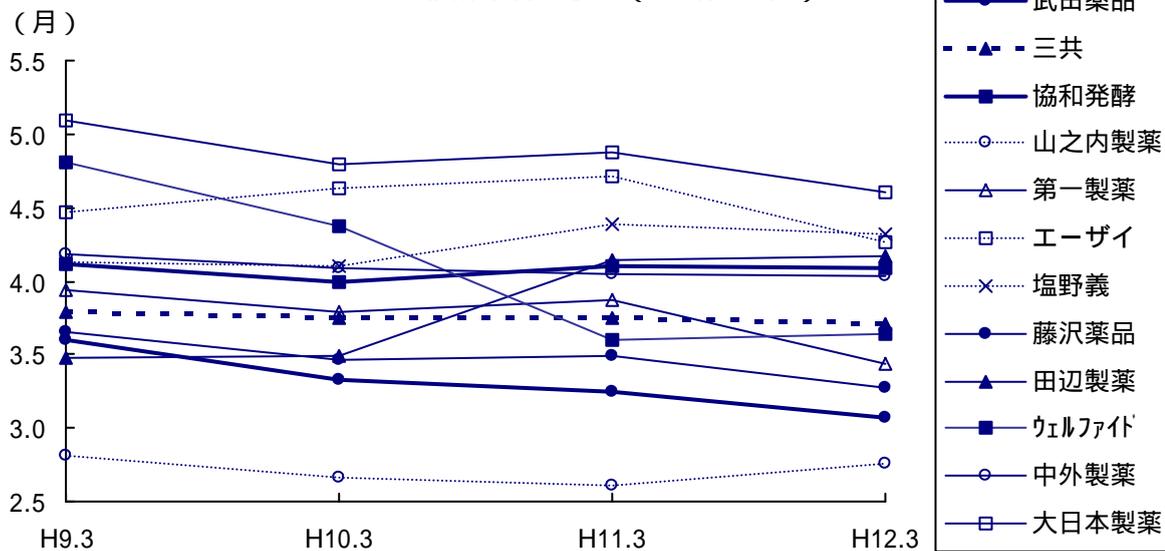


図28

海外売上高(連結/全社)

(億円)

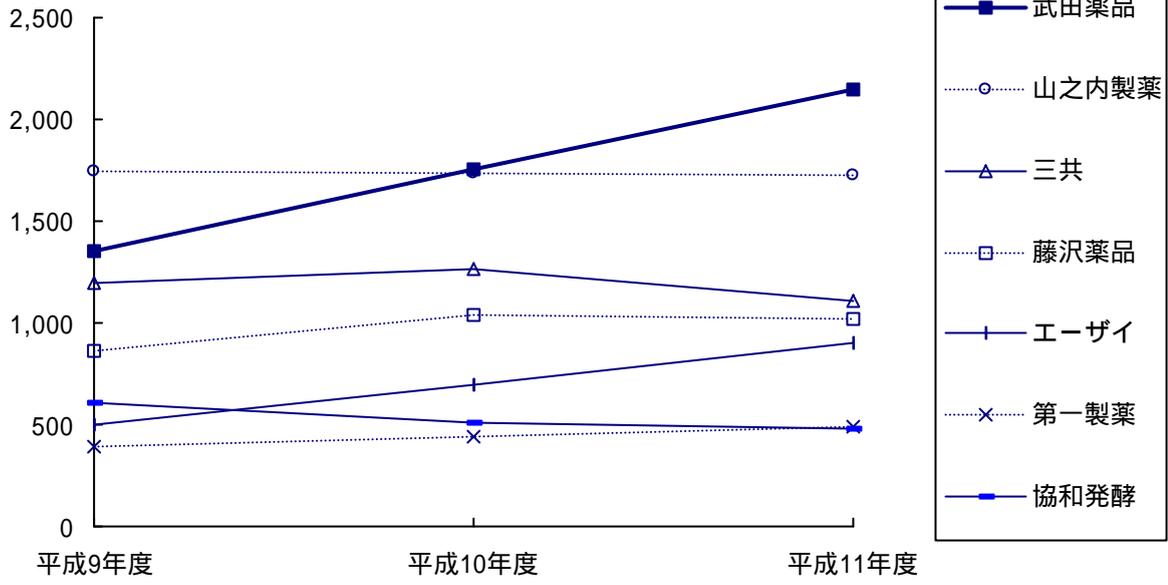
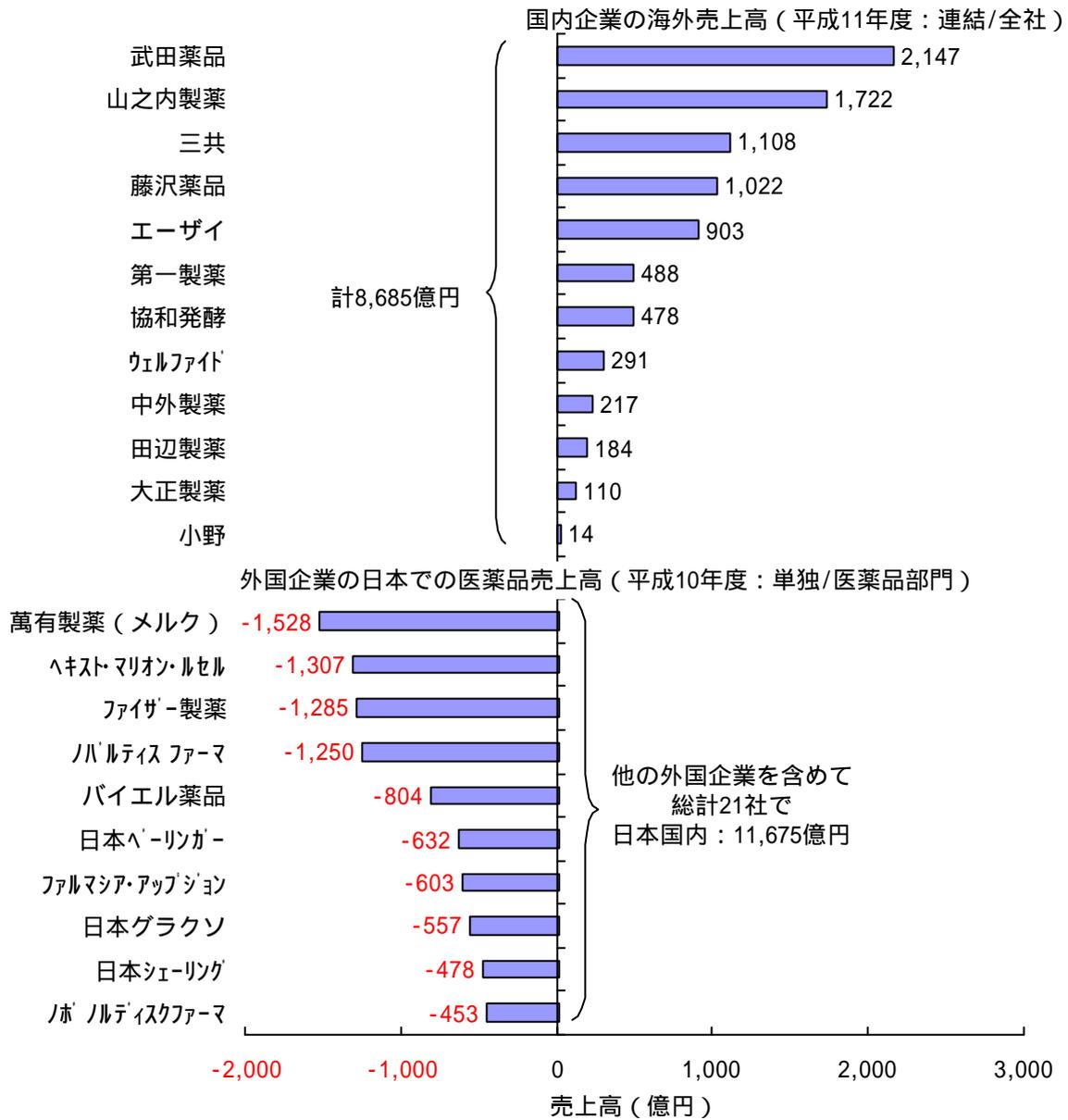


図29

海外・国内売上高比較



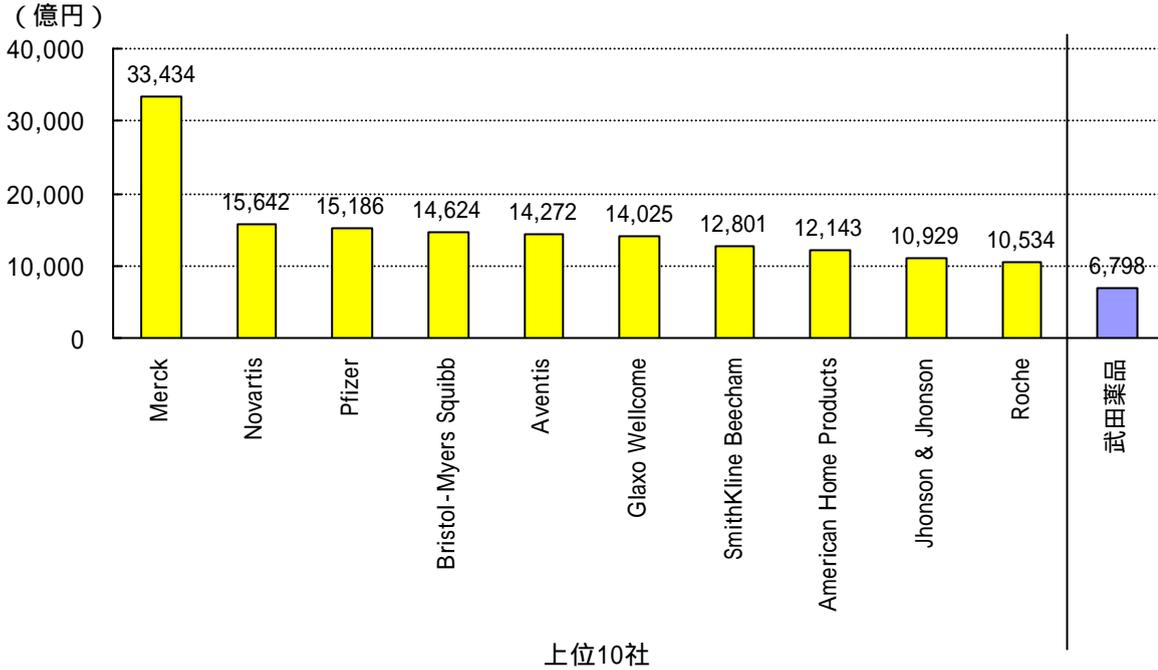
プラス表示：海外売上高、マイナス表示：日本国内での売上高

データソース：「製薬協活動概況調査票」

Hoechst Marion RousselはRhone-Poulenc Rorerと合併し、現在はAventisとなっている。

図30

外国企業の医薬品部門売上高（試算：連結/医薬品部門）

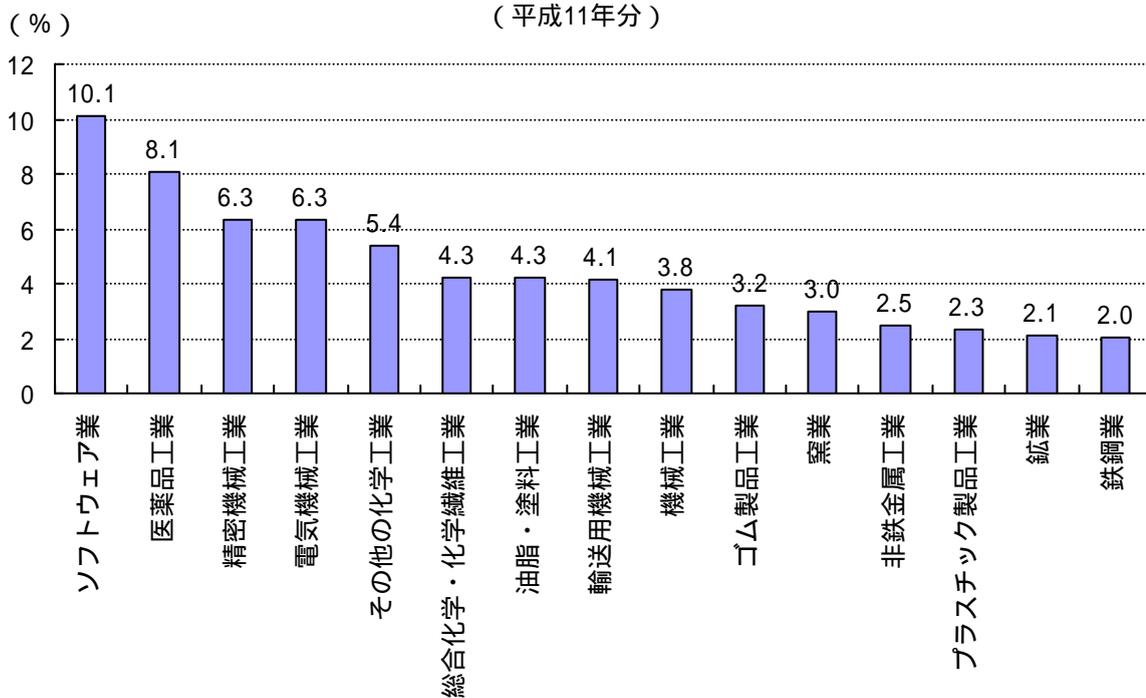


各社Annual Reportより、原則として農薬および動物用医薬品を除いて医薬品部門の連結売上高を抽出した。外国企業は全て1999暦年データ。なお、GlaxoとSmithkline Beechamは合併を決定している。

為替は99.12.30時点のIMFデータを用いて日本円に換算した。

図31

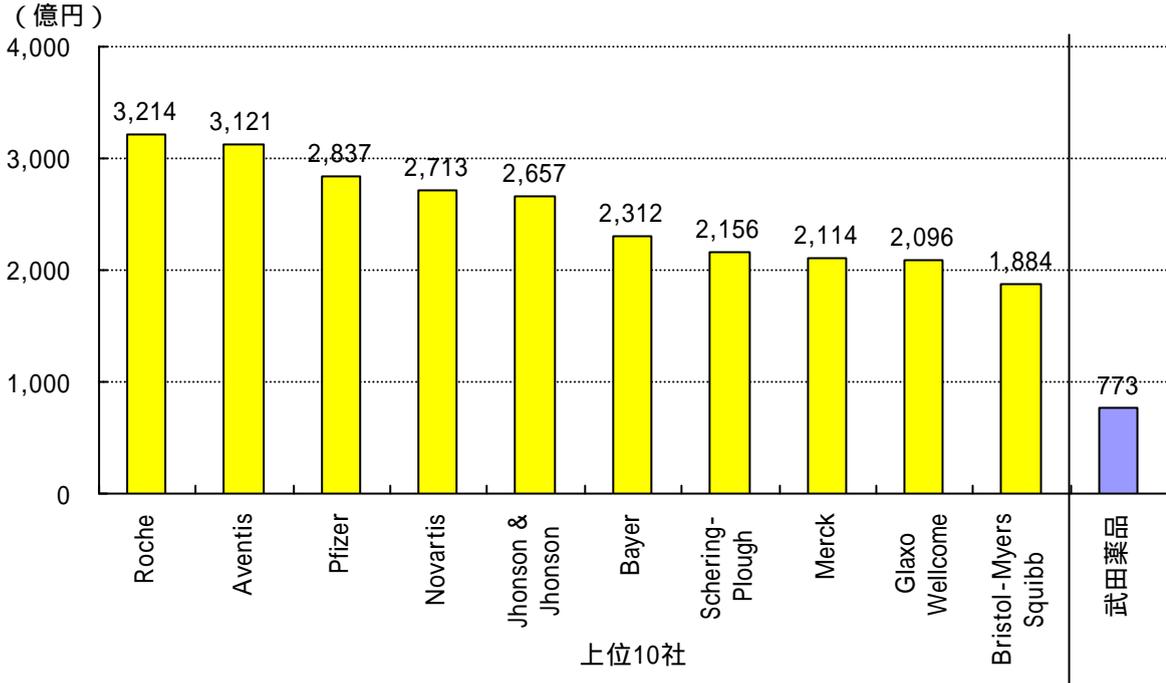
売上高研究費比率（単独/全社）



売上高研究開発費比率：総務庁「平成11年科学技術研究調査」

図32-1

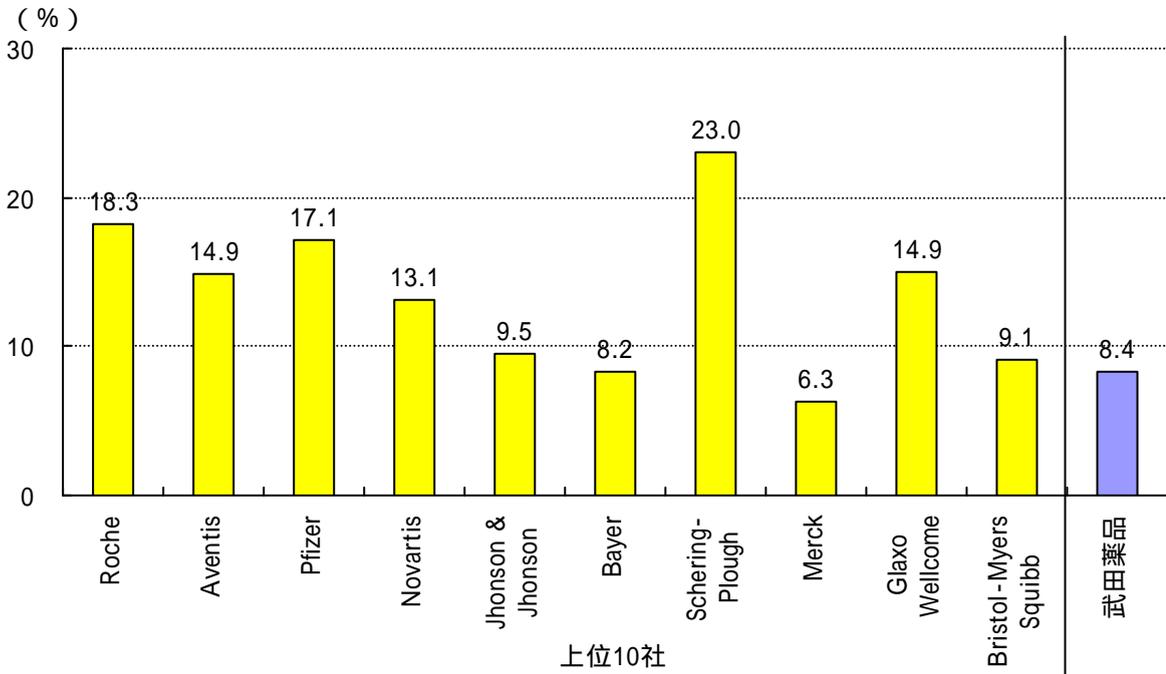
研究開発費（試算：連結/全社）



外国企業は全て1999暦年データ。なお、GlaxoとSmithkline Beechamは合併を決定している。為替は99.12.31時点のIMFデータを用いて日本円に換算した。

図32-2

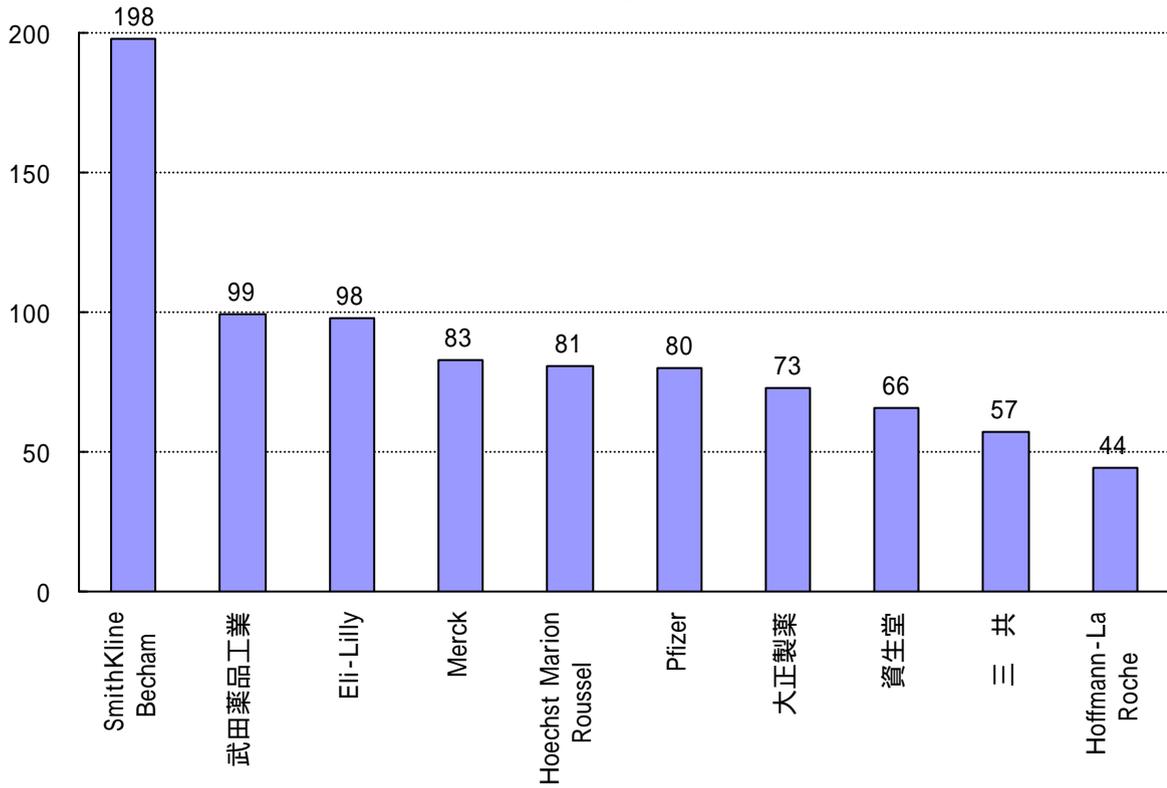
売上高研究開発費比率（連結/全社）



外国企業は全て1999暦年データ。なお、GlaxoとSmithkline Beechamは合併を決定している。為替は99.12.30時点のIMFデータを用いて日本円に換算した。

図33  
(件)

日本における医薬品関連特許数  
1998年



医薬品関連特許数：製薬協ホームページより（原データは日本特許情報機構による）

図34 従業員数 (単独/全社)

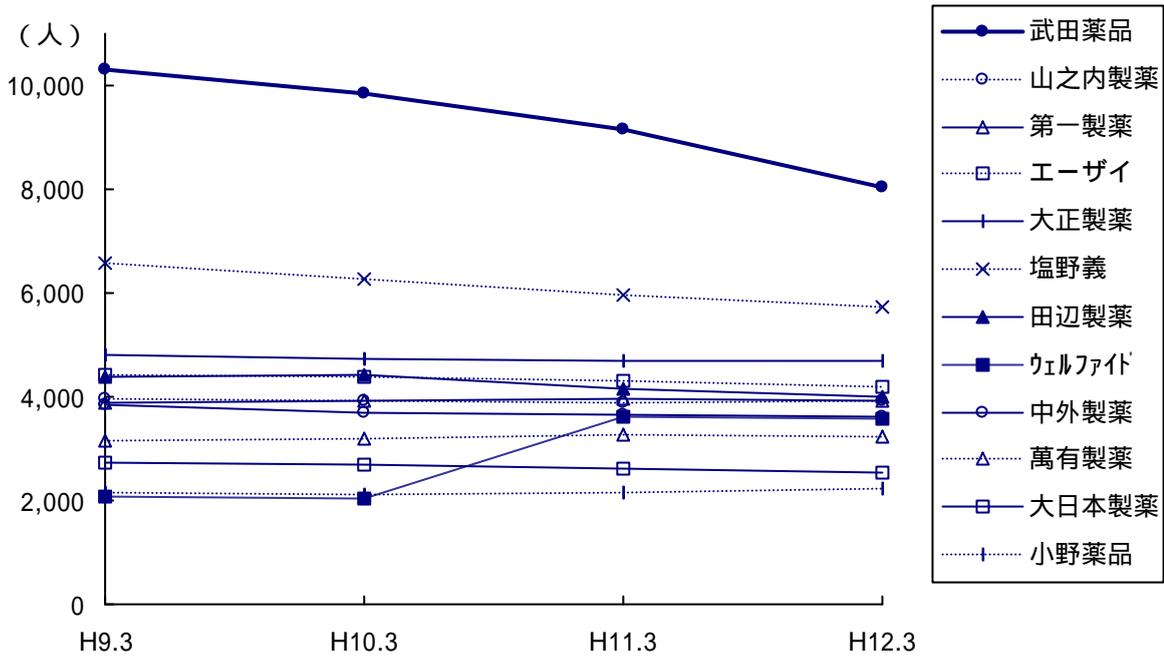
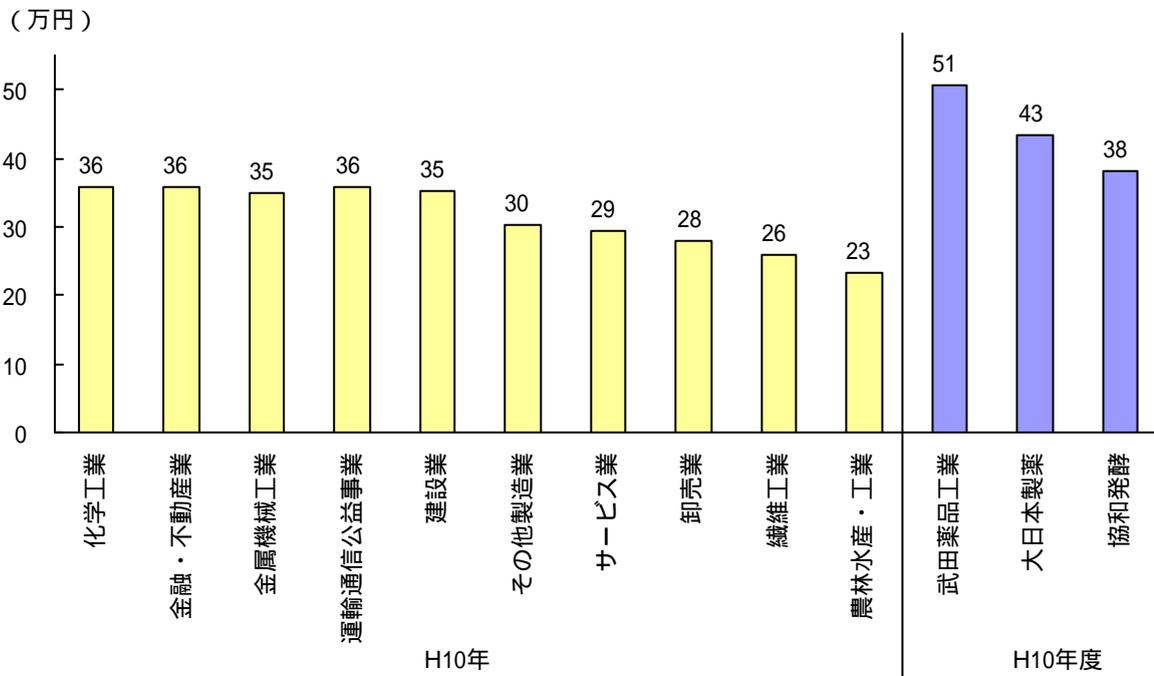


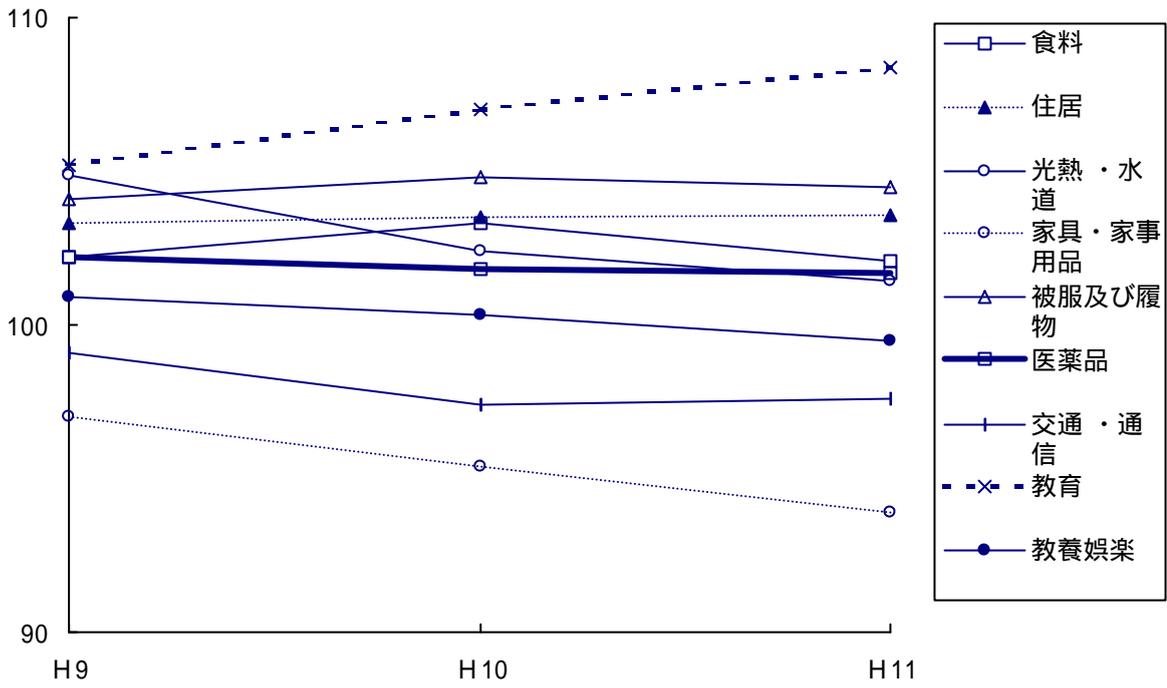
図35 平均給与月額比較 (単独/全社)



平均給与：国税庁「税務統計から見た民間給与の実態」  
 平均給与は国税庁統計分については年間平均給料・手当（除賞与）を12ヶ月で除したものの。製薬会社分は有価証券報告書記載の平均給与月額でいずれも賞与を含まない。

図36

消費者物価指数  
平成7年を100とする



データソース：総務庁統計局

表 1

視 点	ウェイト
成長力（これまでの勢いと将来性）	35 %
安定力（規模と安全性）	30
収益力（儲ける力と儲け方の効率性）	35

順位	会社名	総合得点	成長力	安定力	収益力
1	武田薬品	86	72	100	89
2	大正製薬	86	78	93	89
3	小野薬品	84	78	87	89
4	萬有製薬	80	78	87	78
5	山之内製薬	78	56	100	81
5	藤沢薬品	78	72	93	70
5	第一製薬	78	78	87	70
8	三共	77	61	93	78
9	エーザイ	74	72	93	59
10	中外製薬	73	72	87	63
11	大日本製薬	68	56	80	70
12	塩野義薬品	63	56	80	56
13	ウェルファイド	58	61	60	52
14	田辺製薬	55	50	60	56
15	協和発酵	51	61	47	44

- 注) 1. 大正製薬、小野薬品は過去の連結データがないため、伸び率については単独ベース  
 2. 萬有製薬については全て単独ベース  
 3. ウェルファイドは合併しているため伸び率については過去1年間分

(参考)「通知表」の評価項目・ポイント

			ポイント			計 (1)	ウイト (2)	分野計 (1) × (2)
			3点	2点	1点			
成長力	成長性	売上高伸び率(3年間平均)	102 以上	99 ~ 102	99 未満	18	1.94	35
		経常利益伸び率(3年間平均)	108 以上	104 ~ 108	104 未満			
		使用総資本伸び率(3年間平均)	104 以上	101 ~ 104	101 未満			
	将来性	若さ(平均年齢)/H10年度	39 歳未満	39 ~ 41歳	41 歳以上			
		研究開発力(研究開発費比率)	13% 以上	9 ~ 13%	9% 未満			
		国際競争力(海外売上高比率)	30% 以上	10 ~ 30%	10% 未満			
安定力	規模	売上高	5 位まで	6 ~ 10位	11 位以下	15	2	30
	安全性	流動比率	300 %以上	200 ~ 300%	200 %未満			
		当座比率	200 %以上	100 ~ 200%	100 %未満			
		自己資本比率	60 %以上	50 ~ 60%	50 %未満			
		固定比率	80 %未満	100%未満	100 %以上			
収益力	収益性	売上高経常利益率	20 %以上	10 ~ 20%	10 %未満	27	1.3	35
		総資本税引き前利益率	12 %以上	8 ~ 12%	8 %未満			
		自己資本税引き後利益率	9 %以上	6 ~ 9%	6 %未満			
		損益分岐点比率	80 %未満	80 ~ 90%	90 %以上			
	効率性	総資本回転率	0.67 回以上	0.6 ~ 0.67	0.6 回未満			
		有形固定資産回転月数	5 ヶ月以上	3 ~ 5	3 ヶ月未満			
		棚卸資産回転月数	1.3 ヶ月未満	1.3 ~ 1.7	1.7 ヶ月以上			
		1人当たり経常利益	15 百万円以上	5 ~ 15	5 百万円未満			
		総資産あたり時価総額	2 倍以上	1.5 ~ 2	1.5 倍未満			
							満点	100

安全性などのように評価が確立されている指標を除いて、基本的に相対評価でポイントを配分した。

時価総額は2000年6月12日時点のもの。

平成12年3月期：経営指標（連結）

大項目	中項目	単位	武田薬品	三共	協和発酵	山之内	第一製薬	エーザイ	大正製薬	塩野義	藤沢薬品	田辺製薬	ウエルファイト*	中外製薬	萬有製薬	大日本	小野薬品
規模	売上高	億円	9,231	5,897	3,749	4,337	3,005	3,025	2,753	4,003	2,891	1,851	1,992	1,955		1,555	1,273
	経常利益	億円	2,227	1,434	211	982	600	369	898	266	357	210	161	289		138	591
	使用総資本	億円	14,669	9,217	4,339	8,293	5,072	4,857	5,277	4,425	4,356	2,759	2,952	3,211		1,711	3,440
	自己資本	億円	10,093	6,150	1,950	6,202	3,431	3,294	4,414	2,552	2,630	1,460	1,518	1,710		981	2,806
収益性	売上高総利益率	%	53.2	60.2	33.8	71.1	64.0	69.7	74.3	36.7	64.7	52.7	48.7	69.8		37.5	84.5
	売上高営業利益率	%	18.6	24.2	5.8	22.2	20.3	12.3	30.5	6.4	12.1	11.0	9.6	15.3		8.2	44.0
	売上高経常利益率	%	24.1	24.3	5.6	22.7	20.0	12.2	32.6	6.6	12.3	11.3	8.1	14.8		8.9	46.4
	売上高税引き後利益率	%	13.0	7.3	3.0	13.2	8.0	3.7	18.4	3.2	7.9	2.2	4.1	4.5		4.4	22.0
	総資本税引き前利益率	%	12.8	16.3	5.1	11.9	12.9	8.3	17.6	6.3	8.6	7.9	6.6	9.9		8.2	17.0
	自己資本税引後利益率	%	12.5	7.3	5.9	9.7	7.3	3.5	12.1	5.2	9.1	2.8	5.5	5.4		7.4	10.0
	損益分岐点比率	%	65.1	59.8	82.9	68.8	68.3	82.4	58.9	82.7	81.4	79.1	80.4	78.1		78.2	47.9
安全性	流動比率	%	326	289	141	399	278	323	557	244	304	237	178	344		382	488
	当座比率	%	278	244	98	330	209	264	510	188	229	191	112	275		215	464
	自己資本比率	%	68.8	66.7	44.9	74.8	67.6	67.8	83.6	57.7	60.4	52.9	51.4	53.2		57.3	81.6
	固定比率	%	40.2	45.8	104.2	59.5	44.2	50.8	39.7	44.2	68.4	82.9	75.4	77.2		54.6	36.6
効率性	総資本回転率	回	0.66	0.66	0.82	0.54	0.61	0.64	0.55	0.94	0.66	0.70	0.69	0.62		0.90	0.37
	有形固定資産回転率	回	4.11	3.29	2.94	2.60	3.08	2.78	3.01	5.23	3.49	2.87	2.84	2.51		5.11	5.33
	棚卸資産回転月数	月	1.37	1.62	1.93	1.13	1.68	1.35	0.86	1.77	1.62	1.66	2.91	1.42		1.39	0.81
	売上債権回転月数	月	3.07	3.71	4.08	2.76	3.44	4.26	2.76	4.33	3.27	4.16	3.63	4.03		4.60	3.14
	手元流動性比率	%	8.30	7.10	0.92	7.76	7.19	5.89	11.11	3.23	4.28	3.83	3.08	5.08		2.83	18.51
その他	売上高販管費比率	%	34.6	36.0	28.1	49.0	43.7	57.4	43.7	30.4	52.6	41.7	39.2	54.5		29.3	40.4
	売上高研究開発費比率	%	8.4	10.9	-	12.6	12.0	15.4	8.4	6.8	15.8	10.5	9.7	20.5		7.8	-
	海外売上高比率	%	23.3	18.8	12.8	39.7	16.2	29.9	4.0	-	35.3	10.0	14.6	11.1		-	1.1

\*注："- "は決算短信では公表されていないもの

平成12年3月期：経営指標（単独）

大項目	中項目	単位	武田薬品	三共	協和発酵	山之内	第一製薬	エーザイ	大正製薬	塩野義	藤沢薬品	田辺製薬	ヘルファイト	中外製薬	萬有製薬	大日本	小野薬品
規模	売上高	億円	7,085	4,506	3,167	2,786	2,475	2,306	2,710	2,207	2,021	1,771	1,617	1,766	1,625	1,424	1,260
	経常利益	億円	1,813	1,383	207	726	540	384	895	264	205	191	191	265	343	133	588
	使用総資本	億円	11,118	8,306	3,578	7,558	4,467	4,383	5,247	3,404	3,888	2,592	2,280	3,054	2,736	1,651	3,410
	自己資本	億円	8,067	5,984	1,741	6,097	3,165	3,350	4,413	2,393	2,720	1,391	1,402	1,642	2,290	970	2,794
収益性	売上高総利益率	%	56.0	67.3	35.3	70.2	63.4	65.9	75.1	54.1	62.2	53.5	49.8	70.4	63.5	38.9	85.0
	売上高営業利益率	%	24.8	30.3	6.5	25.6	22.2	16.8	31.1	10.2	9.2	10.6	12.0	15.6	18.2	8.4	44.2
	売上高経常利益率	%	25.6	30.7	6.5	26.1	21.8	16.7	33.0	12.0	10.2	10.8	11.8	15.0	21.1	9.4	46.7
	売上高税引き後利益率	%	12.7	12.7	3.8	12.2	8.9	5.2	18.7	6.1	5.2	1.9	4.0	2.6	10.5	4.7	22.1
	総資本税引き前利益率	%	6.6	7.1	0.0	6.7	7.2	10.4	4.7	8.0	9.3	7.8	6.8	12.1	6.7	7.4	6.2
	自己資本税引後利益率	%	21.6	18.7	13.0	11.0	14.0	7.7	21.0	11.5	8.0	6.0	9.3	5.8	13.8	14.2	18.8
	損益分岐点比率	%	55.6	55.0	81.7	63.6	65.1	74.5	58.6	81.1	85.1	80.1	75.9	77.8	71.3	0.0	48.0
安全性	流動比率	%	365	306	177	403	275	457	564	433	437	240	192	351	646	274	488
	当座比率	%	320	261	119	306	206	382	518	333	335	197	139	277	465	224	465
	自己資本比率	%	72.6	72.0	48.7	80.7	70.9	76.4	84.1	70.3	70.0	53.7	61.5	53.8	83.7	58.8	81.9
	固定比率	%	35.7	48.6	90.5	71.7	46.0	52.7	41.8	41.0	67.8	81.4	80.0	82.0	24.4	54.3	36.2
効率性	総資本回転率	回	0.68	0.57	0.84	0.39	0.57	0.53	0.54	0.66	0.51	0.71	0.70	0.59	0.61	0.86	0.39
	有形固定資産回転率	回	4.97	3.28	4.32	4.55	3.63	3.34	3.06	4.23	3.45	2.96	3.33	2.69	5.30	4.73	2.73
	棚卸資産回転月数	月	1.24	1.55	1.56	0.93	1.66	1.31	0.85	2.46	1.96	1.54	1.68	1.46	1.72	1.46	0.79
	売上債権回転月数	月	3.02	4.28	4.39	3.52	3.57	5.25	2.75	4.82	3.88	4.39	3.77	4.19	4.00	4.76	3.43
	手元流動性比率	%	9.18	8.40	0.72	6.89	7.33	6.13	11.06	5.29	5.42	3.74	2.46	4.95	7.58	2.97	18.63
その他	売上高販管費比率	%	31.1	37.0	28.8	44.6	41.3	49.1	44.0	43.9	52.9	42.8	37.8	54.8	45.3	30.5	40.8
	売上高研究開発費比率	%	9.6	12.6	-	17.4	12.6	19.5	8.6	12.1	18.2	10.9	9.7	20.5	11.1	8.6	15.9
	輸出比率	%	25.0	17.5	-	-	15.8	15.0	0.4	-	10.7	8.9	-	4.8	-	-	1.1

\*注："- "は決算短信では公表されていないもの

平成12年3月期：貸借対照表（連結）

金額単位：億円

	武田薬品	三共	協和発酵	山之内	第一製薬	エーザイ	大正製薬	塩野義	藤沢薬品	田辺製薬	ケルファイト*	中外製薬	萬有製薬	大日本	小野薬品	14社計
現預金	3,686	1,230	241	1,287	445	491	1,282	1,032	190	571	494	166		325	467	11,907
受取手形及び売掛金	2,361	1,823	1,267	997	862	1,075	633	1,443	789	642	603	657		596	333	14,080
有価証券	2,699	2,261	46	1,519	1,357	993	1,266	45	843	21	16	662		41	1,498	13,265
当座資産	8,746	5,313	1,554	3,803	2,663	2,559	3,181	2,520	1,821	1,233	1,114	1,485		962	2,298	39,252
棚卸資産	1,050	795	604	408	422	340	198	592	389	256	483	231		180	86	6,033
その他流動資産	459	180	76	390	451	226	91	157	206	41	180	142		568	30	3,196
流動資産計	10,255	6,288	2,233	4,601	3,536	3,124	3,469	3,268	2,417	1,530	1,777	1,858		1,711	2,414	48,481
建物・機械等	1,883	1,596	1,049	1,397	858	889	691	608	713	442	541	649		256	267	11,840
土地	437	253	228	319	130	191	226	217	129	190	181	124		52	211	2,887
建設仮勘定	86	190	117	107	93	15	1	42	67	15	162	29		4	57	984
有形固定資産	2,405	2,039	1,394	1,823	1,081	1,095	918	866	909	647	885	802		312	535	15,711
無形固定資産	32	105	19	432	44	80	148	26	210	39	24	100		8	20	1,288
投資等	1,624	675	619	1,436	392	496	686	236	680	524	236	418		215	472	8,710
固定資産計	4,062	2,819	2,033	3,692	1,517	1,672	1,752	1,128	1,800	1,210	1,144	1,320		535	1,026	25,710
繰延資産	0	0	0	0	0	5	0	0	0	1	0	0		0	0	6
連結調整勘定・為替換算調整金	353	110	73	0	19	55	56	29	139	18	31	33		0	0	916
資産合計	14,669	9,217	4,339	8,293	5,072	4,857	5,277	4,425	4,356	2,759	2,952	3,211		0	3,440	72,867
支払手形及び買掛金	1,155	740	528	322	252	142	172	792	185	233	219	111		289	70	5,210
短期借入金	157	546	456	25	422	190	6	173	139	120	441	87		0	200	2,963
未払金・未払費用	519	0	298	452	403	225	184	0	237	127	113	180		0	0	2,739
未払法人税等	495	173	68	237	146	80	203	97	16	72	66	64		36	121	1,874
その他流動負債	822	3,632	235	116	50	332	58	279	218	93	158	100		123	104	6,321
流動負債	3,147	2,173	1,585	1,152	1,273	969	623	1,341	796	645	999	541		448	495	16,188
社債・転換社債	0	0	550	233	20	156	0	200	291	321	0	649		170	0	2,590
長期借入金	0	98	23	29	2	1	2	0	128	104	211	16		0	2	616
その他固定負債	1,048	898	191	627	291	342	231	308	490	210	149	287		106	126	5,304
固定負債	1,048	800	764	889	313	499	233	508	909	635	361	952		276	128	8,313
負債計	4,195	2,973	2,349	2,041	1,586	1,468	856	1,850	1,704	1,279	1,360	1,492		725	623	24,501
少数株主持分	381	93	40	50	55	95	7	24	21	19	74	9		5	12	887
資本金	635	552	267	987	303	448	298	213	318	343	214	226		134	174	5,110
資本準備金	496	533	432	1,127	340	551	149	202	505	381	471	333		159	170	5,850
その他	8,961	5,065	1,251	4,088	2,788	2,294	3,967	2,137	1,807	737	833	1,151		688	2,462	38,230
資本	10,093	6,150	1,950	6,202	3,431	3,294	4,414	2,552	2,630	1,460	1,518	1,710		981	2,806	49,190
資本・負債合計	14,669	9,217	4,339	8,293	5,072	4,857	5,277	4,425	4,356	2,759	2,952	3,211		1,711	3,440	74,578

\*注："- "は決算短信では公表されていないもの

平成12年3月期：損益計算書（連結） 金額単位：億円

	武田薬品	三共	協和発酵	山之内	第一製薬	エーザイ	大正製薬	塩野義	藤沢薬品	田辺製薬	ケルファイト	中外製薬	萬有製薬	大日本	小野薬品	14社計
売上高	9,231	5,897	3,749	4,337	3,005	3,025	2,753	4,003	2,891	1,851	1,992	1,955		1,555	1,273	47,517
売上原価	4,323	2,348	2,480	1,253	1,081	917	709	2,532	1,021	876	1,021	590		972	198	20,320
売上総利益	4,908	3,549	1,269	3,084	1,924	2,109	2,045	1,471	1,871	975	971	1,365		583	1,076	27,198
一般管理費	3,194	2,122	1,052	2,123	1,315	1,738	1,204	1,217	1,522	771	780	1,065		456	515	19,074
研究開発費	773	644	0	548	362	467	232	270	456	195	193	400		121	-	4,661
営業利益	1,714	1,427	217	961	610	371	841	254	348	204	190	300		127	561	8,124
営業外収益	640	71	59	69	31	41	60	50	89	35	17	36		27	42	1,267
営業外費用	127	65	65	48	41	44	2	38	80	28	46	46		16	12	658
経常利益	2,227	1,434	211	982	600	369	898	266	357	210	161	289		138	591	8,734
特別利益	0	30	29	122	2	11	0	39	53	52	125	0		19	0	481
特別損失	200	536	14	191	125	124	18	28	44	162	125	149		21	90	1,826
税引き前当期利益	2,028	928	226	913	477	255	881	277	366	100	161	140		136	501	7,389
法人税等	831	500	113	342	236	143	374	148	136	60	79	53		67	220	3,302
税引後利益	1,196	428	113	572	241	113	508	129	229	41	81	88		69	280	4,086

海外売上高	2,147	1,108	478	1,722	488	903	110	-	1,022	184	291	217		-	14	8,685
海外売上高 / 売上高計	23.3%	18.8%	12.8%	39.7%	16.2%	29.9%	4.0%	-	35.3%	10.0%	14.6%	11.1%		-	1.1%	18.3%

従業員数（人）	16,254	-	-	9,000	6,994	-	4,982	-	7,859	-	4,280	4,877		-	-	54,246
---------	--------	---	---	-------	-------	---	-------	---	-------	---	-------	-------	--	---	---	--------

\*注：“-”は決算短信では公表されていないもの

## 平成12年3月期：貸借対照表（単独）

金額単位：億円

	武田薬品	三共	協和発酵	山之内	第一製薬	エーザイ	大正製薬	塩野義	藤沢薬品	田辺製薬	ウェルファイト*	中外製薬	萬有製薬	大日本	小野薬品	15社計
現預金	2,803	956	144	347	284	264	1,232	930	76	536	331	89	886	315	459	9,653
受取手形	417	668	352	101	151	186	52	198	72	103	33	151	210	62	215	2,969
売掛金	1,366	786	806	717	585	823	570	689	581	545	475	465	332	503	114	9,357
有価証券	2,617	2,196	45	1,253	1,228	915	1,266	44	836	15	1	640	140	38	1,497	12,730
当座資産	7,203	4,607	1,347	2,417	2,248	2,187	3,121	1,861	1,566	1,199	840	1,345	1,567	918	2,285	34,711
棚卸資産	735	582	411	215	342	252	192	453	330	227	226	215	233	173	83	4,668
その他流動資産	300	207	243	551	421	180	89	110	149	33	93	148	378	33	30	2,963
流動資産計	8,238	5,396	2,002	3,184	3,010	2,619	3,401	2,424	2,045	1,459	1,158	1,708	2,178	1,124	2,398	42,342
建物・機械等	1,160	1,258	639	500	624	577	661	420	515	401	363	552	232	253	259	8,415
土地	248	182	96	140	71	105	225	96	100	184	138	104	70	52	209	2,020
建設仮勘定	49	185	16	15	55	11	1	35	46	14	119	28	11	3	57	644
有形固定資産	1,456	1,625	751	655	750	693	888	552	661	599	621	684	312	308	525	11,079
無形固定資産	4	64	17	317	34	69	145	8	7	38	15	16	29	8	20	789
投資等	1,420	1,222	808	3,401	673	1,002	813	421	1,176	496	486	647	217	211	467	13,461
固定資産計	2,881	2,911	1,576	4,374	1,457	1,764	1,846	981	1,843	1,133	1,122	1,346	558	527	1,012	25,329
繰延資産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
資産合計	11,118	8,306	3,578	7,558	4,467	4,383	5,247	3,404	3,888	2,592	2,280	3,054	2,736	1,651	3,410	67,672
支払手形	1	361	46	78	12	8	21	70	7	12	15	26	1	50	41	748
買掛金	745	435	358	186	219	79	144	88	120	200	159	60	47	223	29	3,090
短期借入金	0	386	181	4	359	110	0	80	0	103	183	80	0	0	200	1,684
未払金・未払費用	644	209	239	279	324	243	182	98	252	154	171	137	157	41	38	3,168
未払法人税等	426	173	59	206	141	84	201	85	1	69	49	55	51	40	129	1,771
その他流動負債	439	200	248	38	39	48	55	139	88	70	27	129	80	55	54	1,709
流動負債	2,254	1,763	1,131	790	1,093	572	603	559	468	608	604	486	337	410	491	12,171
社債・転換社債	0	0	550	233	0	155	0	200	253	320	0	649	0	170	0	2,530
長期借入金	0	3	2	1	0	0	0	14	24	67	138	2	0	0	2	253
その他固定負債	797	556	153	437	209	306	231	239	423	206	135	275	109	101	123	4,298
固定負債	797	559	706	671	209	461	231	452	699	593	274	926	109	271	125	7,081
負債計	3,051	2,322	1,836	1,461	1,302	1,033	833	1,012	1,167	1,201	877	1,412	446	681	616	19,252
資本金	635	552	267	988	303	449	298	213	318	343	214	226	443	134	174	5,556
資本準備金	496	533	432	1,127	340	551	149	202	505	381	471	333	452	159	170	6,301
利益準備金等	159	115	67	89	66	68	75	53	58	49	53	44	53	28	39	1,016
別途積立金	5,005	3,921	724	3,274	2,065	1,990	3,327	1,742	1,732	494	523	872	642	540	2,055	28,908
未処分利益	1,772	863	251	618	391	291	564	183	107	125	141	167	700	109	356	6,638
資本	8,067	5,984	1,741	6,097	3,165	3,350	4,413	2,393	2,720	1,391	1,402	1,642	2,290	970	2,794	48,420
資本・負債合計	11,118	8,306	3,578	7,558	4,467	4,383	5,247	3,404	3,888	2,592	2,280	3,054	2,736	1,651	3,410	67,672

\*注：“-”は決算短信では公表されていないもの

平成12年3月期：損益計算書（単独）金額単位：億円

	武田薬品	三共	協和発酵	山之内	第一製薬	エーザイ	大正製薬	塩野義	藤沢薬品	田辺製薬	ウエルファイト	中外製薬	萬有製薬	大日本	小野薬品	15社計
売上高	7,085	4,506	3,167	2,786	2,475	2,306	2,710	2,207	2,021	1,771	1,617	1,766	1,625	1,424	1,260	38,726
売上原価	3,119	1,474	2,049	831	906	788	677	1,014	764	824	812	523	593	870	189	15,432
売上総利益	3,965	3,032	1,118	1,954	1,570	1,519	2,034	1,194	1,257	947	804	1,243	1,032	554	1,071	23,295
一般管理費	2,205	1,667	913	1,242	1,021	1,131	1,191	968	1,070	759	610	967	737	434	514	15,432
研究開発費	683	567	0	484	311	450	232	268	367	194	157	362	181	122	201	4,579
営業利益	1,760	1,364	205	712	548	387	843	225	187	188	194	276	296	120	558	7,863
営業外収益	124	63	51	57	29	32	54	64	74	35	19	31	52	29	41	756
営業外費用	71	44	48	42	38	35	2	25	56	32	22	42	5	16	11	487
経常利益	1,813	1,383	207	726	540	384	895	264	205	191	191	265	343	133	588	8,132
特別利益	0	23	22	30	2	3	0	32	53	52	2	0	0	19	0	238
特別損失	200	356	12	131	113	138	18	28	44	161	67	174	40	21	90	1,593
税引き前当期利益	1,614	1,050	217	625	429	250	878	268	214	83	127	91	303	132	498	6,778
法人税等	713	478	98	283	208	129	372	134	109	50	61	45	132	64	219	3,095
税引後利益	901	572	119	341	221	120	506	135	105	33	65	46	171	67	279	3,683
前期繰越利益、中間配当他	871	291	132	277	170	171	58	48	2	92	75	121	529	42	77	2,955
当期末処分利益	1,772	863	251	618	391	291	564	183	107	125	141	167	700	109	356	6,638
輸出額	1,768	789	-	-	391	347	11	-	216	158	-	85	-	-	14	3,779
輸出額 / 売上高計	25.0%	17.5%	-	-	15.8%	15.0%	0.4%	-	10.7%	8.9%	-	4.8%	-	-	1.1%	99.3%
従業員数（人）	8,025	6,802	5,009	3,905	3,934	4,182	4,678	5,718	5,127	4,019	3,584	3,606	3,225	2,521	2,228	66,563

\*注：“-”は決算短信では公表されていないもの